

町自連 第20回 定期総会 議事録

日 時 令和4年5月29日（日）14時開会 / 15時45分閉会
場 所 八王子エルシイ 4階

小池 茂 常任理事・北野地区連合会長の司会により進行

1. 開会の辞

小池常任理事により開会した。

2. 秋間会長挨拶

本日はお忙しい中、町自連の定期総会にご出席を頂きありがとうございました。

日頃より、町会・自治会活動に深いご理解とご協力を頂き感謝を申し上げます。

世界中を震撼させた「新型コロナウイルス」の拡大防止のため、令和2年度、令和3年度の町自連定期総会は、書面による総会とさせていただきました。

本日の第20回定期総会は3年ぶりの開催になりますが、こうした「感染症」の拡大防止の観点から、総会出席者の人数を制限させていただきましたことをご報告申し上げまして、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

この3年間には、地域づくり計画や獣害対策など、私たちの生活に様々な動きがありました。その中でも特に八王子市は、令和元年の台風19号により甚大な被害を受けたことから、災害復旧などから得た経験を活かし、被災された町会、自治会を中心に市と連携し、災害時における商業施設の解放を実現しました。

感染症を見据えた避難訓練を行い、安全な生活に向けた取り組みは着実に進んでおります。しかしながら、「感染症」の影響は、皆様方の町会、自治会、管理組合におきましても、なかなか思うような活動ができなかったのではないかと思います。住民間での懇親を図ることができず、会合や総会をどのように開催するのが良いのかなど、苦しい連続であったと思います。

町自連といたしましても、「向こう三軒両隣」「互近助けあい」を大切に、「感染症」への対策を講じながら、町自連活動の基本であります、各単位町会、自治会、管理組合の自主性を尊重した活性化の促進や地域課題への対応、情報交換等を各町会、自治会に周知すること、地区連合同士の情報交換と、広域にわたる課題解決に向けた事業を進めていく所存でございます。

本日の定期総会では、重要な案件もございます。皆様方から様々なご意見を伺いこれからの活動に結び付け、町自連の発展に努めて行きたいと思っております。本日はよろしくご審議のほどお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

【総会成立報告】

- ◆ 司会者は総会成立状況を事務局長より報告させた。

事務局長より総会成立報告

町自連加入347団体中、出席76団体、委任状210団体、合計286団体となり、会則第11条4項により定期総会が成立した旨を報告。

3. 議長選出

- ◆ 司会者より、議長は会則第 12 条 3 項により選出したいが如何するかと発言したところ、出席者から司会者一任の発言があり、他の出席者からも異議なしとの声を受け、司会者に一任。司会者は、鈴木 伸若 常任理事・由木地区連合会長を指名した。

【議長登壇】

- ◆ 議長は次の 2 名を議事録署名人に指名し議事に入った。

議事録署名人

小峰 千春 常任理事・東部地区連合会長

奈良 篤 常任理事・西部第二地区連合会長

4. 議 事

- ◆ 議長は第 1 号議案令和 3 年度事業報告、第 2 号議案令和 3 年度決算報告、並びに第 3 号議案令和 3 年度監査報告を一括議題とした。各議案の説明・報告後に質問を受ける事とした。

(1) 第 1 号議案令和 3 年度事業報告

- ① 総括、前野事務局長より総会資料により説明・報告した。
以下、各専門部会の部長より報告する。
- ② 総務部報告、小室総務部長から総会資料により説明・報告した。
- ③ 広報部報告、石井広報部長から総会資料により説明・報告した。
- ④ 事業部報告、荒井事業部長から総会資料により説明・報告した。
- ⑤ 組織部報告、尾川組織部副部長から総会資料により説明・報告した。
- ⑥ 生活安全部報告、尾寄生活安全部長から総会資料により説明・報告した。

(2) 第 2 号議案令和 3 年度決算報告

河西会計から総会資料により、前年からの変更点などを中心に説明・報告した。

(3) 第 3 号議案令和 3 年度監査報告

監事を代表し、尾川監事が総会資料により、次のように報告した。

- ① 会計監査については、会計帳簿及び関係書類を閲覧等必要な監査手続きを用いて検査し正確性を検討したこと。
- ② 業務監査については、定例三役会、常任理事会に出席し業務報告を聴取し、関係書類の閲覧等業務執行の妥当性を検討したこと。
- ③ その結果、決算報告は正確且つ妥当と認めるとともに、事業報告は適正であると認め、令和 4 年 5 月 10 日(火)の常任理事会で報告したこと。

- ◆ 議長は質問を受ける旨発言。発言者は氏名、地区名及び所属団体名を名乗るよう説明し、質疑に入った。

【質疑応答】 出席者からの発言はなく、議長は質問発言者がいない事を確認

- ◆ 議長は第 1 号議案令和 3 年度事業報告、第 2 号議案令和 3 年度決算報告並びに、第 3 号議案令和 3 年度監査報告について採決を行ったところ、拍手多数をもって、原案のとおり承認された。

を十分に聞き入れてもらえない。関係機関へ相談しても何ら回答はない。町自連と一緒に寄り添って、町会側の立場から東京都や八王子市へ、今後の展開などを含めた説明を聞く機会などを持てるよう、関係機関へ要請してほしい。

《回答》

地元にとっては大事なご意見であり、切迫した状況が伝わってきた、こうした意見を踏まえ、町自連は動いていくことになるが、東部地区連合会長と連絡をとりながら主旨を整理し対処していきたい。

《質問2》 東中野自治会

公衆街路灯の市への移管については、これまで相当時間が経過をしている。町会内にはかなりの水銀灯があり、LEDへの交換をどうするか検討するとともに、玉切れなどの交換も行っているが、補助金の申請をしても交付決定までに時間を要しており、すぐに修理ができない。地元業者に修理を依頼すれば3,000円程度の経費がかかる。その都度、市へ補助申請をするのが難しいため、町会負担で行っており、町会経費を圧迫している。スムーズに移行できるよう、補助金の活用方法を含めた対応を、連合会として行政機関へ要望願いたい

《回答》

公衆街路灯の移管については、協働推進課と打合せをしており、現在水銀灯、蛍光灯などの玉切れ等の対応では、経過措置として補助率を政策的に上げるなどの検討が図られているので、その都度行政へ相談いただきたい

《質問3》 NEC平山団地自治会長

市長との懇談会についての要望。市は、マイナンバーカードの活用促進を推進しているが、都内のいくつかの自治体では、コンビニで住民票、戸籍などが入手できる。しかし、八王子はいまだにコンビニ入手ができていない。近くにこうしたものを入手できる事務所がない場所が多い。近くのコンビニでこうした書類を入手できるようになればいいので、是非デジタル化推進を図るよう、市長との懇談会などを通じ、意見を伝えてほしい

《回答》

市は、マイナンバーカードの普及推進のため、休日も業務にあたっている。こうした意見は市長へ伝えていきたいと考えている。

◆ 議長は他に質問発言者がいない事を確認。

第6号議案令和4年度事業計画(案)及び第7号議案令和4年度予算(案)について採決を行ったところ、拍手多数をもって原案のとおり承認され、各議案に記載された(案)の削除を促した。

5. 報告事項

◆ 議長は報告事項 専門部規程の一部改正報告を事務局より報告させた。
関谷事務局次長は、規程の一部改正について総会資料により報告した。

◆ 議長は全議案の審議が終了し、全てに事案が承認された旨宣言し降壇した。

6. 退任町会自治会長に感謝状贈呈

秋間会長は、表彰規程により令和3年度末にて退任した、在任4年以上の表彰対象者18名へ感謝状を贈呈した。

7. 閉会の辞

司会の小池常任理事により第20回定期総会を15時45分閉会した。

令和4年6月9日

議事録署名人

小嶋千春



議事録署名人

奈良篤



町自連 第19回 定期総会 議事録

日 時 令和3年5月30日(日) 16時

会 場 八王子エルシィ

第19回定期総会は、依然として新型コロナウイルスへの罹患者数が減少しないことに鑑み、感染拡大防止を図るため、書面表決による開催とした。書面表決に至った経緯などについては、令和3年度町自連総会資料に、次のとおり掲載した

書面表決に至る経過

《令和3年4月13日(火)》

三役会及び常任理事会において、代表参加による定期総会方法についてこれを了承し、定期総会の出席及び委任状の依頼をした

《令和3年4月20日(火)》

総務部(総務部長)と町自連事務局は、新型コロナウイルス罹患者数が減少しない現状を勘案し、定期総会の開催方法について、当初決定した代表参加から、書面方式による定期総会への変更を含め検討した、検討後、定期総会を書面方式で行う旨提言し、会長はこれを了承し、書面方式で定期総会を実施することとし、町自連事務局は、この旨、三役、常任理事あて、通知をした

《令和3年5月17日(月)》

町自連事務局から各町会・自治会長等あて、議案書及び書面表決書等の書類を送付

《令和3年5月25日(火)》

各町会長・自治会長等は、上記「書面表決書」を地区連合会長へ提出

《令和3年5月26日(水)》

地区連合会長は町自連事務局へ、「書面表決書」を取りまとめ提出

《令和3年6月8日(火)》

町自連事務局から地区連合会長へ、上記「書面表決書」に基づく審議結果等を通知

地区連合会長は審議結果を各町会長・自治会長等へ報告、書面方式による定期総会終了

【会長挨拶】

第19回「八王子市町会自治会連合会 定期総会」は、これまで感染症拡大防止の観点から、地区連合会からの代表参加として、令和3年5月30日(日)に開催することで準備を進めてまいりました

しかし、現在、感染力の強い変異ウイルスが蔓延していることにあわせ、4月には、東京都を含む4都府県に対し、国は3回目となる「緊急事態宣言」を発出しました

こうした状況に鑑み、「緊急事態宣言」が解除され、参加者数を限定する、などの可能な限りで感染症防止対策を講じたとしても、定期総会を開催することは適切ではないと判断し、令和3年度の定期総会は、会議形式での審議を行わない「書面方式による定期総会」としました

この書面表決による定期総会は、一日も早い感染症の収束を願うとともに、私たちの健康を守り、そして医療崩壊させない、私達市民が、この現状下で果たせる取り組みの一つとしておりますことから、「書面表決」による総会の開催に対し、ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます

令和3年5月30日

八王子市町会自治会連合会 会長 秋間 利久

書面表決による「令和 3 年度町自連定期総会」は、連合会に加盟する 347 団体のうち、289 団体から書面表決書の提出があったので、「八王子市町会自治会連合会会則」第 12 条第 4 項により、2 分の 1 以上の出席があったものとみなし、総会は成立した

1. 議事

(1) 第 1 号議案「令和 2 年度 事業報告」

- ① 総括 運営組織の充実（専門部への運営サポート）、地域づくり推進事業、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会への支援、新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み
- ② 総務部 掲示板設置に対する充実化要望、公衆街路灯 LED 化、獣害対策への取り組み支援
- ③ 広報部 広告協賛の増、町自連 HP の活用対策と移行準備
- ④ 事業部 役員研修会「地域づくりと町自連～教育と福祉施策～」自治会活動賠償賠償責任保険の加入促進、町会、自治会設備整備支援補助制度への協力
- ⑤ 組織部 加入促進キャンペーン、市内全町会への「八王子市町会・自治会運営ハンドブック 2020」の配布
- ⑥ 生活安全部 住宅火災予防への周知、防犯関連組織との連携による特殊詐欺への注意喚起

(2) 第 2 号議案「令和 2 年度 決算報告」

- ① 収入 町自連だより広告協賛 584 千円増
- ② 支出 地区交流費 5 団体中止 258 千円減、研修費（研修会中止による減）
事務費 事務所公共料金次年度精算減、人件費 社会保険料改定増、
都町連・全自連経費、慶弔費 実績、備品設備費 事務局パソコン動作不良に伴う更新増、市補助返還金

(3) 第 3 号議案「令和 2 年度 監査報告」

- ① 4/5 監査実施 監事 3 名により会務、会計の状況を確認した
- ② 監査の結果・・・
会務は概ね事業計画に基づき実施していること、事業報告は、その状況を正しく示しており、適正に執行されていること、会計は、決算報告、会計帳簿、入・出金伝票など、適正に処理されていること

(4) 第 4 号議案「会則の一部改正」

地区連合会長の位置づけ及び役員の選出について、明確に規定を整備するため、本総会に提案した、なお本議案は、3 月 9 日付書面承認による常任理事会で承認されたこと

(5) 第 5 号議案の 1「役員の選任」

会長 1 名及び監事 3 名の候補者を提案した

(6) 第 5 号議案の 2「役員の選任」

副会長 5 名及び会計 2 名の候補者を提案した

(7) 第 6 号議案「令和 3 年度事業計画(案)」

- ① 総括 地域づくり推進事業、地域課題の取り組み（獣害駆除対策ほか）、市民生活の安全確保と生活向上、ICT 化の推進による情報共有化
- ② 総務部 新年懇親会、公衆街路灯 LED 化、獣害駆除対策への取り組み
- ③ 広報部 地区特集取り組み継続、HP「町自連」の運用強化
- ④ 事業部 自治会活動賠償責任保険、設備整備支援補助金(備品提供)活用、
- ⑤ 組織部 加入促進キャンペーン 地域の底力発展事業助成制度活用

- ⑥ 生活安全部 防災・防犯・交通等関係組織の連携強化
- (8) 第7号議案「令和3年度予算(案)」
 - ① 収入 市連合会補助 375千円増
 - ② 支出 地区交流費 18団体 1,800千円、研修費 講師謝礼増、事務費人件費 事務局員増員分平年化、都町連全自連経費 全自連全国大会(福山市)参加増、慶弔費 実績勘案

上記議案に対する質問等に対し、各町会長等から提出された「書面表決書」内「意見欄」に記載されたものを、「質問」と「回答」として取りまとめ、議案審議の意見・回答とした

【意見・質問1】

街路灯の整理は、LED完了率にかかわらず公平な仕切りとなるようお願いします。
情報は紙ではなく、電子的に速やかに流すこともご検討いただきたい。

【回答】 公衆街路灯の整備については、令和元年度八王子市からの提案を受けてから、常任理事会などの席上でも公平な仕切りを含め、様々な意見が出されています。八王子市とは、こうした意見を踏まえ、どのような形で八王子市が引き継ぐのか等、現在も検討を行っておりますが、現地実態調査を行う中で、多くの課題が出てきました。そのため、その整理にかなりの時間を要していることから移管時期も大幅に遅れています。対策として町自連は、市との定例会議を通じ、進捗状況の確認を行っております。整理がつき次第市から提案されますので、常任理事会などを通じ報告いたします。

市との打合せ結果は、会議録として常任理事会で配布しておりますが、ご意見にあります電子データ化した資料の提供は検討したいと考えています。

【意見・質問2】

決算段階で、予算に計上がなかった定期預金 160万円が積み立てられたことと、昨年に比べ増えた繰越金の合計で 180万円の事業余剰金が生じた訳です。こうした背景から① 執行段階で今年度の分担金を特例的に半額程度に出来ないか？ ② 減額せずに今年度も余剰金が生じた場合に昨年度と同様の名目で積み立て(預金)するならば、予算科目を立てて、特別会計への繰り出しとして千円でも計上した方が議論しやすかった。何れにしても、各町会では会員の減少に伴う財源の減少に苦慮しています。中央町会も由木地区連合会でも、今年は特例的に会費又は分担金を半額にする予定です。検討を期待します。

【回答】 ご質問にあります「予算に計上されていない 160万円の積み立て」については、現在町自連 HP で使用しているソフトは、マイクロソフト社のインターネットエクスプローラー保守の終了に伴い、令和4年3月以降の使用が出来ないことが本年に入り判明したことから、新たなソフトへ移行するための経費として積み立てしたものです。この移行に伴う積立金は、令和2年度の事業中止などにより発生した経費を充当しましたが、ご指摘にありますように事務局としては、こうした情報の入手には十分留意し、適切な予算計上、予算執行に努めてまいります。

次に、剰余金については、令和2年度発生した「新型コロナウイルス感染拡大」の影響を受け、当初予定した町自連の事業を中止もしくは延期などとしたことから、発生した経緯があります。ご質問にあります ① 分担金の減額については、恒常的に発生する剰余金と考えていないため、令和3年度の事業計画を含み、当初予算では減額計上しておりません。また、② 予算科目を立てた事務処理等については、ご指摘のとおりですので、今後いただいたご意見を参考に対応してまいります。

【意見・質問3】

「町会＝ライフライン」だと思っています。このことを八王子町会自治会連合会としてお伝えしてほしいです。退会や未加入者が目立ちます。(不思議に女性名が少ない(ゼロ)のように感じた)若者のオブザーバー参加を推進しては如何でしょうか。

【回答】 近年多発する豪雨災害では、八王子市も被害を受けており、「町会＝ライフライン」という考えを強くアピールするべきと考えています。特に昨年、新型コロナウイルス感染対策を講じた避難所のあり方をテーマに防災訓練を実施した地区もありました。市長と町自連三役との懇談会でもこうした事案を取り上げており、地区内の活動を活かし、意見交換を行っています。ご意見にあります若者をどのように取り込んでいくのか等を含め、町自連として考えていきたいと思えます。

【意見・質問4】

地区交流費、研修費の内訳を明記してください。

【回答】 地区交流事業助成事業は、「地区連合会の交流事業を推進し、地域活動の活性化に資することを目的に、地区連合会の複数の町会、自治会で構成し一定の条件を満たした地区連合会を対象に、10万円を上限に補助」しています。地区交流費並びに研修は、何れも町自連の常任理事会で承認した事業であり、経費なども逐次報告をしておりますが、ご意見にあります経費の内訳につきましては、多岐にわたることから限られた総会資料のスペースへどのように明記すべきかなど課題も残ります。常任理事会の資料は地区連合会長へ配布していますので、お読みください。なお、令和2年度の地区交流費は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事前に申請のあったほとんどの団体は事業を中止しましたが、4団体は、防災・避難・災害訓練、都市公園整備に係る現地視察や意見交換を行い、その主な経費の支払いは、避難訓練に要した災害物品購入費や会場経費などへ支出をしたとの報告を受け、常任理事会で報告しました。また、研修経費は、昨年10月に「地域づくり」をテーマに役員研修を開催し、会場経費、機材資料として支払をいたしました。

【意見・質問5】

1. 組織人員の減少について・・・

1年間で3,154世帯も激減していますが、経過報告ではその原因について不明確ですので明らかにしてください。また、加入促進の取り組みについては、明らかにされていますが、現実に脱会者が増え組織の減少に歯止めがかかっていません。組織を拡大している先進的な町会自治会の取り組みなどを紹介しながら町会・自治会活動の在り方を含めて抜本的な組織対策を提起して、町自連の指導の強化を要請します。

2. 広報活動について・・・

「町自連だより」で地域情報の発信及び地域との連携を目的に「地区特集」を掲載し、2巡目に入っています。1巡目は町自連の組織実態等を理解していただくために必要であったかもしれませんが、しかし関心を持っている方は、町会・自治会の役員くらいで一般市民は無関心です。2巡目は必要ありません。

「町自連だより」は、町自連の主要な活動、各地区、町会・自治会の特徴的な活動を紹介するなど、町自連の存在感を高める情報紙を要請します。そのためには印刷屋まかせでなく、事務局、役員が汗を流して作成してください。

3. 防犯カメラの設置に対する要請について・・・

犯罪を抑止するために大きな効果がある防犯カメラの設置は、町会にとって切実な課題です。残念ながら東京都及び八王子市の補助率は11/12から5/6へと削減されまし

【意見・質問 8】

1. 総務部、経費節減について： 東京オリンピックのチラシが段ボール箱 2 箱で送られてきた。1 箱は 10 枚程度の枚数であった。1 箱で送れる事が出来たと思う。とても経費節減をしているとは思えない。業者丸投げでチェックしていると思えない。
2. 町自連だよりについて： コロナ禍で業者も大変であり、広告を出す業者が減ってきて大変である。全戸配布する必要はないと思える。数年前に総会で全戸配布をやめる事になったのに今だ続いているのは何故なのか疑問である。総会の決議を無視していることが問題ではないか。

- 【回答】
1. ・ 僅かな部数をダンボール箱で送付したとのご指摘につきましては、無駄な配布であり、誠に申し訳ありませんでした。今後このようなことのないよう、また、無駄な経費が発生しないよう、事務局として注意してまいります。
 2. ・ 町自連だよりの戸別配布ですが、平成 25 年 5 月 26 日に開催した「第 11 回定期総会」で町自連だよりの配布方法に対する回覧配布への動議が出されましたが、採決の結果、否決された経緯があります。戸別配布もしくは回覧配布、何れの方法をとるにしても「町自連だより」は、住民が求める情報の伝達手法であることから、ホームページとリンクさせることで、今後更なる内容の改善を重ね多くの方に読まれる紙面づくりを図りたいと考えています。

【意見・質問 9】

第 4 号議案に対し、第 7 条 (6) に「理事は監事を以て充て」ということで、組織としてあり得ないことを提案している。理事は執行機関、監事は監査機関であり、兼ねることはできないのが常識であり反対である。このような会則があることは恥ずかしい。第 5 号議案に対し第 4 号議案の意見により反対である。

- 【回答】 町自連会則第 3 条では、町自連は、地区連合会長を以て運営すると規定しています。同第 7 条では、その役員を選出を規定し、「監事」は、第 7 条 (2) により、選考委員会で候補者の選考を行い、常任理事会に諮った後総会で決定しています。また、「理事」は地区連合会長の経験者から選任し、会長が推薦したのち、選考の方法は異なりますが何れも常任理事会を経て決定しています。ご質問者の意見にありますとおり、「理事」は執行機関で「監事」は監査機関との考え方はその通りですが、町自連は、地区連合会の会長を以て、それぞれの役職を担うこととして、会則を制定した時から運営をしています。しかしながらいずれの職におきましても、一定の経験がある方が適任であると考える一方で、昨今、短期間で町会長の職を退かれる方も多く苦慮している現状にあります。役員からも様々な意見や考え方が出され、論議を重ねた上で今回第 4 号議案として上程いたしました。こうした現状を含め町自連のあるべき姿、役員体制を見据え検討したいと考えており貴重なご意見として、参考にいたします。

【その他・意見】

1. コロナ禍の社会における町会活動の在り方について模索しております。感染防止こそが町会員の「生命、健康」を守る唯一の方法であり、全町会員がワクチン接種を済ますまで”自粛”を求めて、行事・クラブ活動を止めています。
2. 新型コロナ禍の最中、種々の活動に支障をきたし違った労力を費やすご苦勞について敬意を表します。
3. 常識ある副会長指名をお願いします。
4. 個人的にはコロナ禍の現状では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は反対です。よって令和 3 年度事業計画(案)の I-5 の項目の支援はできません。

5. 新型コロナウイルス拡大のなか、何かと大変な運営と思いますが、よろしくお願い申しあげます。

◆【第1号議案から第7号議案・議決結果】

1. 第1号議案「令和2年度事業報告」	賛成 289	反対 0	無効・未提出	58
2. 第2号議案「令和2年度決算報告」	賛成 289	反対 0	無効・未提出	58
3. 第3号議案「令和2年度監査報告」	賛成 289	反対 0	無効・未提出	58
4. 第4号議案「会則の一部改正」	賛成 288	反対 1	無効・未提出	58
5. 第5号議案の1「役員の選出」 ・・会長及び監事候補者	賛成 288	反対 1	無効・未提出	58
6. 第5号議案の2「役員の選出」 ・・副会長及び会計候補者	賛成 287	反対 2	無効・未提出	58
7. 第6号議案「令和3年度事業計画」	賛成 289	反対 0	無効・未提出	58
8. 第7号議案「令和3年度予算」	賛成 288	反対 0	無効・未提出	59

「八王子市町会自治会連合会会則」第12条第4項により、書面表決書提出者の過半数以上の賛成をもって原案のとおり承認された。

2、 退任町会自治会長感謝状贈呈

令和2年度末退任町会長感謝状受賞者芳名簿

町自連副会長1名、町自連監事1名、地区連合会長2名、町会長・自治会長20名
延べ24名

《4年以上町会長退任 地区連合会長感謝状送付》

令和3年7月19日

議事録署名人

佐戸 樹



議事録署名人

今 高雄



町自連 第18回 定期総会 議事録

日 時 令和2年5月31日(日) 16時

会 場 八王子エルシィ

第18回定期総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に、書面表決にて開催した。書面表決に至った経緯などについては、令和2年度町自連総会資料に、次のとおり掲載した。

書面表決に至る経過

《令和2年4月 9日(木)》

臨時三役会にて書面表決方式を提案、これを承認した

町自連事務局から常任理事あて、議案及び議案承認に関する書面表決書等を送付

《令和2年4月16日(木)》

常任理事から議案に関する書面表決書を提出

《令和2年5月 1日(金)》

町自連事務局から各町会・自治会長等あて、議案書及び書面表決書等の書類を送付

《令和2年5月25日(月)》

各町会長・自治会長等は、上記「書面表決書」を地区連合会長へ提出

《令和2年5月28日(水) 厳守》

地区連合会長は町自連事務局へ、「書面表決書」を取りまとめ提出

《令和2年6月 9日(火)》

町自連事務局から地区連合会長へ、上記「書面表決書」に基づく審議結果等を通知

地区連合会長は審議結果を各町会長・自治会長等へ報告。書面方式による定期総会終了

会長コメント

八王子市町会自治会連合会の第18回定期総会を令和2年5月31日に開催することで準備を進めてきました。

しかし、令和2年1月中国で発症した「新型コロナウイルス」は猛威を振るい、沈静化せず世界中に蔓延しており、現在、わが国でも感染症拡大を防ぐため、あらゆる対策を講じております。

こうした状況に鑑み、限られた空間で、特定した人数により定期総会を開催することは、可能な限り感染症防止対策を講じた場合であっても、国や市が警鐘する「感染症拡大防止策」にそぐわないと考え、令和2年度の第18回定期総会は、書面により議案を審議し会議での審議を行わない「書面方式による定期総会」としました。

この書面表決による定期総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止にむけ、私達市民が果たせる取組の一つとして行うものであり、今後、特別の事態が生じない限り、同様な方式で定期総会を開催するものではないことをご理解いただきますよう、よろしく申し上げます。

令和2年5月31日

八王子市町会自治会連合会 会長 秋間 利久

書面表決による「令和2年度町自連総会」は、連合会に加盟する353団体のうち、302団体から書面表決書の提出があったので、「八王子市町会自治会連合会会則」第12条第4項により、2分の1以上の出席があったものとみなし、総会は成立した。

1. 議事

- ◆ 第1号議案令和元年度事業報告、第2号議案令和元年度決算報告、第3号議案令和元年度監査報告を一括提案。各議案説明、書面表決書意見に回答

(1) 第1号議案「令和元年度 事業報告」

主な前年度との変更点及び取り組み

- ① 総括 事務局常勤職員増員、地域づくり推進事業、獣害駆除対策、東京2020オリンピック・パラリンピック、新型コロナウイルス感染症拡大防止
- ② 総務部 公衆街路灯LED化
- ③ 広報部 広告協賛の増
- ④ 事業部 役員研修会「新潟市 地域づくり」
町自連研修会「防災講演会 天気の見方と異常気象、地球温暖化」
- ⑤ 組織部 加入促進キャンペーン
- ⑥ 生活安全部 台風19号アンケート集約

(2) 第2号議案「令和元年度 決算報告」

- ① 収入 町自連だより広告協賛530千円増
- ② 支出 地区交流費5団体中止258千円減、研修費 講師公務対応減、事務費 事務所公共料金次年度精算減、人件費 社会保険料改定増、都町連全自連経費 全自連全国大会(宮崎市)参加増、慶弔費 実績、備品設備費 事務局パソコン動作不良に伴う更新増、市補助返還金

(3) 第3号議案「令和元年度 監査報告」

- ① 4/7 監査実施 監事3名により会務、会計の状況を確認した。
- ② 監査の結果・・会務は概ね事業計画に基づき実施していること、事業報告は、その状況を正しく示しており、適正に執行されていること。
会計は、決算報告、会計帳簿、入・出伝票など、適正に処理されていること。

以下質疑応答は、各町会長等から提出された「書面表決書」内「意見欄」に記載されたものを、議案ごとに「質問」と「回答」として取りまとめ、議案審議の意見・回答とした。

◆第1号議案から第3号議案 意見・回答

【質問1】町自連役員会の報告等を確実に各町会自治会に徹底周知するため、メールやホームページの活用、事務局から直接提供を受けるルートの構築を検討願いたい。

《回答》町自連が地区連合会の連合組織であることから、地区連合会において、定例会の開催を再三にわたってお願いしており、定例会では、当連合会の役員会で図った行政からの報告や議題等、速やかな情報周知をお願いしたいと考えています。

また、役員会の情報については、議事録の作成に合わせ、ホームページでの公開をしておりますので、ご活用ください。なお、地区連合会長との連絡については、メールやFAXでのルートは確保しておりますが、個別の町会自治会への直接のルートは、八王子市においても構築は難しく、地区連合会長経由が現状として最善の策とならざるを得ません。

【質問2】行政主導の各種審議会・委員会等への参画、運営組織の充実など具体的結果を提示し、定量的評価をいただきたい。

《回答》行政主導の各種審議会・委員会等への出向については、役員会において報告の場を設けており、地区連合会長間での情報共有を図っておりますが、定量的な評価については、難しい部分もあり、抽象的な言い回しとならざるを得ないこともあります。できるだけわかりやすい表現を行ってまいります。

- 【質問3】 公衆街路灯のLED化について、その進捗が抽象的な表現になっている。また、LED化を完了している町会と実施中の町会との不公平感を招かないようにしてほしい
- 《回答》 公衆街路灯のLED化については、再三にわたって八王子市に申入れ及要望書の提出を行っており、八王子市の事業執行にあたっては、町会自治会の意向を踏まえた中で、事業を進めるように今後も協議を進めてまいります。
- 【質問4】 「町自連だより」全戸配布の必要性について、アンケート調査の実施を希望する。
- 「町自連だより」は回覧で十分であり、全戸配布の必要はない。
- 《回答》 町自連だよりは、町自連の活動を、広報活動を通じて広く周知する媒体として、町自連加盟団体すべての世帯に個別配布するほか、関係団体への配布、公共施設のほか、未加入団体へも配布を行っております。配布を楽しみにしている方からの問合せもあり、また、作成にあたって、広告協賛をお願いしている経緯があり、現行の全戸配布方式としております。アンケート調査などについては、今後、広報部会で検討を行ってまいります。
- 【質問5】 「町自連だより」に掲載する地域の紹介は不要で、自分の地域以外見ないと思う。今起きている問題、課題、解決方法など、市内町会自治会全体に関係するような内容としてほしい。
- 《回答》 町自連だよりは、平成27年10月の第28号から地区特集に取り組みをはじめております。記事の内容としては、地区特集に合わせて町自連としての情報も取り上げて、読者からの問合せも多数寄せらせております。今後「町自連だより」の紙面づくりでは、いただいた貴重なご意見を反映できるよう検討していきます。
- 【質問6】 広告協賛を町会長が中心となり、集めるのは筋が違う。印刷会社がやるべきではないか。広告料が高すぎる。
- 《回答》 広告協賛では、地区の各町会長の皆様にご尽力をいただき、感謝いたします。全戸配布する「町自連だより」を通じ、地元事業者のPRなど、地域の発展を視野に入れており、地元の皆様のご協力なくして、地域の発展に結びつかないと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。発行経費はできるだけ広告協賛で賄っておりますので、設定の金額となりますが、地区の負担をできるだけ軽減するため、レギュラー広告の確保に努めてまいります。
- 【質問7】 掲示板を全てリニューアルしたが、市からの補助とは何か。どうして補助するのか疑問である。
- 《回答》 町会自治会からの掲示板に対する要望を受け、平成30年10月に掲示板にかかる助成制度の要望書を市へ提出し、令和元年度に新設された制度であります。
- 【質問8】 「町自連総会資料」の35ページに記載された「LED」に対する「見守り支援的な補助制度」とはどのようなことを指すのか
- 《回答》 公衆街路灯LED化移管に伴って、維持管理が市となり、電気料等の支払に関する補助金がなくなりますが、これに代わる制度として八王子市では、町会自治会での球切れなどの連絡に対する助成制度を検討されております。なお、八王子市から、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から説明会が遅れていますが、詳細について、出来るだけ早く提示するとの回答を受けています。
- 【質問9】 公衆街路灯LED化の対応が遅い、明確でない。市の補償なしでは納得できない。各町会としての対応策を具体的に明示してほしい。
- 《回答》 公衆街路灯のLED化については、再三にわたり八王子市へ申入れ、要望書の提出を行っており、八王子市の事業執行にあたっては、町会自治会の意向を踏まえた中で、事業を進めるように今後も協議を進めてまいります。ご意見を八王子市に伝え、市とともに検討していきます

- 【質問 10】 加入促進キャンペーンの効果（のぼり旗、ポスター、チラシ）は低い。新しい方策を望む
- 《回答》 加入促進キャンペーンについては、平成 28 年度から実施しており、横断幕等の取り組みなども実施しておりますが、飛躍的な加入率増加につながっていない現状を踏まえ、今後、組織部会で検討を行ってまいります。
- 【質問 11】 町会加入促進運動の展開など、具体的に加入率など明示を願う。
- 《回答》 加入促進キャンペーンは、東京都の「地域の底力発展事業助成」補助（10/10）を活用しております。2019 年度の実績報告において、加入促進の実績について報告を求められ、各地区の状況を報告しておりますが、加入率の明示については、各団体から報告方法など、課題もあることから難しいものと考えています。
- 【質問 12】 不動産関連団体との相互協力として、加入促進にむけた、連携アクションを作り上げてほしい
- 《回答》 平成 28 年 3 月に相互協力協定を締結して、転居時の町会加入促進の確認、不動産団体の無料相談会などを行っております。連携アクションの構築は難しいところですが、今後、わかりやすい説明表記に心がけます。
- 【質問 13】 加入促進として、ポスター、チラシ、のぼり旗など購入し、促進を図っているが、直接加入に結びつくことは殆どない。条例を定め、自治会運営の重要性を認識するのであれば、町会、自治会加入者に対する住民税減税など、全国に先駆けた取組は必要ではないか。
- 《回答》 全国的にも町会自治会加入世帯が減少し、町会自治会の運営に影響を及ぼす状態になりつつある中、当連合会としても、加入世帯減少を食い止めるため、あらゆる手法を講じております。しかし、限られた財源の中での加盟促進活動には限界があるため、加入促進にかかる経費のほとんどを東京都の「地域の底力発展事業助成制度」による補助を受けて実施しております。補助には一定の条件などがあり、計画を大きく変更することは困難な面もありますが、やはり可能な限り継続して実施することも必要であると考えております。なお、住民税の減税については、八王子市「市税負担徴収条例」に減免規定が示されており、町自連として、町会自治会活動の一環として、市に対し減免を求めるかどうか、市の担当部署とともに、今後慎重な論議が必要となります。
- 【質問 14】 獣害被害が多い市街化調整地区の畑は、農地以外の利用方法も考えてもらいたい。
- 《回答》 獣害対策については、近年、周辺部のほか市街地においても出没しており、町自連として、八王子市に要望書を提出し、抜本的対策を求めています。本年 4 月に八王子市に獣害対策課が設置されました。市街化調整区域の利用については、法の制約と照らし合わせながら、今後も担当所管と調整していきます。
- 【質問 15】 予備費があるのに予算額を超えて支出している。
- 《回答》 予備費は、不測の事態への対応として計上しています。本来ならば、各項目に不足額が生じた場合に予算流用を行い執行するところですが、各項目の残額等を判断するとともに全体での運用を図り、最終で不足が生じた場合に予備費からの執行を想定しています。
- 【質問 16】 予算計上していない備品設備費が執行されたことについて説明を願う。
- 《回答》 備品設備費は、事務局内にある PC（本体）2 台が、相次いでディスク等のハード障害をおこし、業務に支障をきたしたため、緊急で購入したもので、会長へ報告するとともに、役員会へ報告を行って執行しております。
- 【質問 17】 収入総額が支出総額を超えた 535,664 円となっているが、予算総額より支出総額が 186,978 円オーバーしたことについて説明願いたい。

《回答》令和元年度の支出決算額では、備品購入経費のほか、職員の社会保険料改定による事業主負担経費、慶弔費や全国自治会連合会総会参加経費などで、予算額に対して、執行額が予算上 186,978 円オーバーしたものであり、収入については、予算額から大きく上回っており、実収入対しの収支差額 535,664 円を計上しております。

【質問 18】人件費の割合が高い。再考を願う

《回答》人件費ですが、全額八王子市の補助をうけております。事務局に勤務する職員のうち、2名については、八王子市から再任用職員を受け入れ、市の基準で雇用しており、また、人件費には、社会保険料等の事業主負担も含まれております。なお、東京都内において、独自の事務局を置いているところはわずかで、多くの区市町村の連合会は、行政が運営しております。

◆【第 1 号議案から第 3 号議案・議決結果】

1. 第 1 号議案「令和元年度事業報告」 賛成 300 反対 0 無効 2
2. 第 2 号議案「令和元年度決算報告」 賛成 299 反対 1 無効 2
3. 第 3 号議案「令和元年度監査報告」 賛成 300 反対 0 無効 2

第 1 号議案から第 3 号議案については、「八王子市町会自治会連合会会則」第 12 条第 4 項により、書面表決書提出者の過半数以上の賛成をもって原案のとおり承認された。

◆ 第 4 号議案役員選出を提案。

(1) 第 4 号議案「役員選出」

- ① 役員選考委員会報告 ・・3/16(月) 役員選考委員会(委員長・小池北野地区連合会長) 監事 1 名選考。監事候補 尾川 由井地区連合会長

◆第 4 号議案 意見・回答

意見なし

◆【第 4 号議案・議決結果】

1. 第 4 号議案「役員選出」 賛成 297 反対 2 無効 2

第 4 号議案については、「八王子市町会自治会連合会会則」第 12 条第 4 項により、書面表決書提出者の過半数以上の賛成をもって原案のとおり承認された。

◆ 第 5 号議案令和 2 年度事業計画(案)、第 6 号議案令和 2 年度予算(案)を一括提案。各議案説明、書面表決書意見に回答

(1) 第 5 号議案「令和 2 年度事業計画 (案)」

主な前年度との変更点及び取り組み

- ① 総括 地域づくり推進事業、地域課題の取り組み (獣害駆除対策ほか)、東京 2020 オリンピック・パラリンピック、新型コロナウイルス感染症拡大防止、
- ② 総務部 新年懇親会 (事業部より移行)、公衆街路灯 LED 化
- ③ 広報部 地区特集取り組み継続
- ④ 事業部 自治会活動賠償責任保険 (総務部より移行)、設備整備支援補助金 (備品提供)活用 (総務部より移行)、町自連研修会
- ⑤ 組織部 加入促進キャンペーン 地域の底力発展事業助成制度活用
- ⑥ 生活安全部 防災・防犯・交通等関係組織の連携強化

(2) 第 6 号議案「令和 2 年度予算 (案)」

- ① 収入 市連合会補助 1,753 千円増
- ② 支出 地区交流費 19 団体 1,900 千円、研修費 講師謝礼増、
事務費 事務所公共料金対前年度増、人件費 事務局員増員分平年化、
都町連全自連経費 全自連全国大会(福山市)参加増、慶弔費 実績勘案、
備品設備費 事務局パソコン更新増

◆第 5 号議案から第 6 号議案 意見・回答

【質問 1】 組織部が取り組む加入促進事業にある不動産関連団体との相互協力について、具体的な改善点が見当たらない

《回答》平成 28 年 3 月に相互協力協定を締結して、転居時の町会加入促進の確認、不動産団体の無料相談会などを行っております。今後、わかりやすい説明表記に心がけます。

【質問 2】 事業計画案 52 ページのうち、加入促進の説明記載、5. 「町会自治会運営ハンドブック」の表記で「町会自治会加入促進ハンドブック」の二種類で表記されている。

《回答》ご指摘の 5. 「町会・自治会運営ハンドブック（改訂版）」の活用の説明文中の表記「町会・自治会加入促進ハンドブック（改訂版）」は誤植です。正しくは「町会・自治会運営ハンドブック（改訂版）」です。大変ご迷惑をおかけしました。

【質問 3】 第 5 号議案内の表記に誤植があること、予算額を前年決算額と対比する理由

《回答》ご指摘のとおり、第 5 号議案 令和 2 年度事業計画（案）実施期間は誤植です。正しくは令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日となります。大変ご迷惑をおかけしました。また、予算額を前年度決算額と対比した理由ですが、前年度予算額と当該年度予算額との対比もありますが、実際に執行した額との対比したほうが、より実態に合った予算となるため、定期総会での指摘もあり、必要と思う額を予算として計上しております。

【質問 4】 加入促進キャンペーンでは、各町会で活用する機会が少ないので内容を精査するなど、町自連会費を減額、もしくは、各事業の内容充実を検討願いたい

《回答》加入促進キャンペーン事業は、東京都の「地域の底力発展事業助成」補助（10/10）を活用しております。のぼり旗、ポスター、チラシなどを作成し、各町会自治会等での加入促進活動の取り組みを実施しております。この補助を受けるための要件が限定されています。町自連として、取り組む事業に対し、出来るだけ東京都や八王子市の補助を活用し、限られた財源を大切に運用するとともに、自主財源の確保に努めております。

【質問 5】 「町自連」の活動を、広報活動を通じて広く周知し、併せて組織強化を図るなど組織の拡大強化を図るとあるが予算案では、収入の部・会費では、前年度決算より減額となっている

《回答》町自連では、組織拡大の取り組みとして、平成 28 年度から加入促進キャンペーンを実施しており、各町会自治会による成果で急激な加入率の減少が抑えられていると考えております。町会によっては増加しているところもありますが、全体的には減少となっているのが現状であり、また、本年度はひとつの地区連合会の脱退があり、収入見積もりにあたっては、現状の数字での計上を行ったものであります。

◆【第 5 号議案から第 6 号議案・議決結果】

- 1. 第 5 号議案「令和 2 年度事業報告（案）」 賛成 299 反対 1 無効 2
- 2. 第 6 号議案「令和 2 年度予算（案）」 賛成 297 反対 3 無効 2

第 5 号議案から第 6 号議案については、「八王子市町会自治会連合会会則」第 12 条第 4 項により、書面表決書提出者の過半数以上の賛成をもって原案のとおり承認された。

◆【その他 意見・回答】

【質問1】 少子高齢化社会が進み、地域格差が生じた今日、関係諸団体と連携し、更なる対策強化を希望する。

《回答》関係諸団体とは、日頃より情報交換を行い、連携を深めております。ご意見を踏まえ、引き続き、連携を進めてまいります。

【質問2】 活動内容が多種多様にて理解しにくい。

《回答》町自連の活動内容については、町自連だより、ホームページ、運営ハンドブックなど、わかりやすく説明できるように事業を進めてまいります。

【質問3】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、町自連として、各町会へ夏祭りなどの中止を呼び掛ける判断を望む。自主要請など、先が見通せず、自治会活動、活動計画に苦慮している。

《回答》各町会への呼びかけなど、町自連として出来る範囲での協力は惜しみません。しかし、町自連としてどこまで責任をもって呼びかけできるのか、様々な課題もあります。この新型コロナウイルスに関する事案については、町自連、八王子市などの情報をもとに個別判断でお願いしておりますので、ご理解をお願いします。

【質問4】 I T環境の整備及び各町会への整備金の補助を早期に検討、推進してほしい

《回答》具体的にどのようなI T環境の整備を望まれているのか不明ですが、行政などからの情報をメール等の機能を活用し情報取得するなど、利便性の向上として検討すべき点はあります。反面、I T環境の整わない団体もあることから、今後どのような方法が望ましいか、各町会への整備金補助をあわせ、今後も担当所管と調整していきます。

【質問5】 今後の行事関係の進捗など早めに知りたい。

《回答》町自連に加盟する各団体の行事等の情報は、事務局として収集しておりません。現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、行政からの情報を入手次第、地区連合会長を通じ、情報提供しておりますので、今後も引き続き同様の方法で情報発信していきます。

【質問6】 書面表決書を返信ハガキにしてほしい

《回答》本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽、定期総会を書面表決としたものであります。書面表決書は、議案審議のほか、ご意見を記載する内容としており、地区連合会長を通しての集約として、地区の意見把握などの半面も備えて、実施させていただきましたので、ご理解ください。

【質問7】 町会役員の担い手不足にあり、今後長く役員を引き受けてもらえる人材の育成に悩んでいる。

《回答》役員の担い手不足、高齢化、人材の育成など、町会自治会が抱える大きな問題であると認識しております。今後、当連合会の専門部会などで検討したいと考えています。


2、 退任町会自治会長感謝状贈呈


令和元年度末退任町会長感謝状受賞者芳名簿

町自連監事1名、地区連合会長1名、町会長・自治会長24名 延べ26名

《4年以上町会長退任 5/12 提出、6/9 常任理事会 地区連合会長感謝状送付》

令和 2 年 7 月 14 日

議事録署名人 常任理事 飯田 功 

議事録署名人 常任理事 田中道夫 

町自連 第17回 定期総会 議事録

日 時 令和元年5月26日(日) 16時02分開会 / 18時03分閉会

場 所 八王子エルシィ 3階

廣元 洸 常任理事・北野地区連合会長の司会により進行

1. 開会の辞

廣元常任理事により開会した。

2. 秋間会長挨拶（代行 小室崇司副会長）

秋間会長不在のため、小室副会長が会長代行として、会長からの挨拶文を代読。

皆様、こんにちは、本日はお忙しい中、多くの方々にご出席を頂きありがとうございます。日頃より、町会・自治会活動にご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

2018年度を振り返りますと、海外では初の米朝首脳会議、米中貿易摩擦の激化、英国のEU離脱問題等、予断を許さない一年でありました。

国内では、西日本豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震などの自然災害が多発し、改めて防災、減災対策の重要性についての認識が高まった年でもありました。

さて、町会自治会連合会は「向こう三軒両隣」「互近助けあい」を基本とする共助の組織で、町会、自治会を地区ごとにまとめ活動している組織で、現在八王子市内では、579団体、153,014世帯が登録され、うち町会自治会連合会に加盟は、356団体、120,651世帯を擁し八王子を代表する連合組織となっています。

そして、町自連活動の基本は、第一に各単位、町会、自治会、管理組合の自主性を尊重しつつ活性化の促進。第二に集合体である地区連合会の定例会を毎月開催することで地域の課題への対応、情報交換、更に町自連役員会の報告等を確実に、各町会、自治会に徹底周知すること。第三に地区連合会同士の情報交換と広域にわたる課題解決に向けた事業を進めていくことにあります。併せて行政主導の各種審議会、委員会等にも積極的に代表を送り込み町自連の主張を反映すべく努めております。

また、会運営の充実に付きましても、効率よく機能させるため、総務、広報、事業、組織、生活安全部の5つの部に分け、副会長が中心となり事業の進捗を図り、平成30年度予定をしておりました事業も滞りなく終わることが出来ました。これも皆様のご協力のお陰であり深く感謝の意を申し上げます。

そして八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会、多摩地域の市町村をはじめ、東京都町会連合会、全国自治会連合会の情報を広く共有し、町自連の発展に努めて行きたいと考えております。

むすびに、本総会がスムーズに進行致しますよう、ご協力をお願いし挨拶とさせていただきます。

【総会成立報告】

- ◆ 司会者は総会成立状況を事務局長より報告させた。

事務局長より総会成立報告

町自連加入 354 団体中、出席 138 団体、委任状 159 団体、合計 297 団体となり、会則第 12 条 4 項により総会は成立する旨報告

3. 議長選出

- ◆ 司会者より議長は会則第 12 条 3 項により選出したいが如何するかと発言したところ、出席者より司会者一任の発言があり、満場異議なしとの声を受け、司会者に一任。司会者は、井上克央 常任理事・由木地区連合会長を指名した。

【議長登壇】

- ◆ 議長は次の 2 名を議事録署名人として指名し、議事に入った。

議事録署名人

内田 豊 常任理事・加住地区連合会長

高橋文夫 常任理事・由井地区連合会長

4. 議 事

- ◆ 議長は第 1 号議案平成 30 年度事業報告、第 2 号議案平成 30 年度決算報告、第 3 号議案平成 30 年度監査報告を一括上程した。各議案上程、報告後質問を受ける事とした。

(1) 第 1 号議案 平成 30 年度 事業報告

- ① 総括、前野事務局長より総会資料により説明・報告した。

以下、各部会の部長より報告する。

- ② 総務部報告、 小室総務部長から総会資料により説明・報告した。
- ③ 広報部報告 石井広報部長から総会資料により説明・報告した。
- ④ 事業部報告 上田事業部長から総会資料により説明・報告した。
- ⑤ 組織部報告 成瀬組織部長から総会資料により説明・報告した。
- ⑥ 生活安全部報告 生永生活安全部長から総会資料により説明・報告した。

(2) 第 2 号議案 平成 30 年度決算報告

河西会計から総会資料により説明・報告した。

(3) 第 3 号議案 平成 30 年度監査報告

山崎・木住野監事を代表し、山崎監事が次のように報告した。

- ① 会計監査については、会計帳簿及び関係書類を閲覧等必要な監査手続きを用いて検査し正確性を検討したこと。
- ② 業務監査については、定例三役会、常任理事会に出席し業務報告を聴取し、関係書類の閲覧等業務執行の妥当性を検討したこと。
その結果決算報告は正確且つ妥当と認めるとともに、事業報告は適正であること認め、平成 31 年 4 月 9 日常任理事会で報告したこと。

- ◆ 議長は質問を受ける旨発言

発言者は氏名、地区名及び所属団体名を名乗り発言をして欲しい旨説明した。

【質疑応答】

【質問 1】 元八地区・さつき野自治会 石塚自治会長

「町会・自治会の活動活性化の推進に関する条例」では、市の責務として、努力するとか必要な支援するといった表現である。高齢化が進み、町会役員の担い手不足が深刻な問題となっている。市が積極的に取り組むような表現での工夫がほしかった。また、いちよう祭り会場でのキャンペーンでは、どの位加入促進につながったのか、その効果をどう分析しているのか。

《回答》 町自連としても、高齢化に伴う様々な問題は十分認識している。
条例化を図った意義は、市行政を町会自治会と連携したパートナーとして位置付けたことにある。これまでのように、市へ一方的に頼むのではなく、我々自身も努力を重ねることが重要であり、市と相互協力を推進することで、今後の効果、問題解決にむすびつくことに期待している。

また、効果分析については、引き続き多くの人で賑わういちよう祭りなどの場で、ハンドブックを活用しながら、町会自治会の必要性を広く周知し、加入促進につなげたと考えている。

【質問2】 横山北地区・長房自治会 松葉自治会長

自治会活動賠償責任保険の加入促進の説明文に、加入人員を追記したほうがいいのではないかと。

また、加入団体が増えているのに決算説明にある保険手数料の当初予算と決算額は同じだが。

《回答》 当該保険では、例年加入世帯や保険パターンが、変更となる加入団体もあるため、一概に加入者数での比較は難しく、加入団体で表示している。

また、決算報告書にある保険手数料の当初予算額は、前年度決算時の実績を用いているため、当該年度での比較とはならない。

【質問3】 元八地区・大楽寺町関口町会 佐藤町会長

役員研修の研修報告について、資料を作成しているのか、また、どこまで行っているのか。あわせて、研修経費の内訳はどうなっているのか。

《回答》 役員研修の実施報告については、資料を含め常任理事会で報告しており、地区連合会長に資料等があるので、参考にしてほしい。研修経費については、交通費及び1泊の素泊まり経費を負担しており、それ以外の飲食に伴う経費等は個人負担としている。なお、参加者から徴した経費は、収入の部にある特別会費に計上している。

【質問4】 元八地区・式分方町一丁目町会 佐藤町会長

監査報告で「検討した」とあるが、検討という言葉が監査に用いるのは適切か。

《回答》 監査を実施するにあたり、まず、監査員はその事業方法や内容を確認し、適切と認めたのち、監査を実施したという意味で説明をしたもの。今後は、表現について見直しを検討する。

◆ 議長は質問発言者がいない事を確認
会場より異議なしとの発言あり

◆ 議長は第1号議案平成30年度事業報告、第2号議案平成30年度決算報告、第3号議案平成30年度監査報告について採決を行ったところ、原案のとおり拍手にて承認された。

◆ 議長は第4号議案 会則の一部改正を上程した。
会則の一部改正について、前野事務局長より事務所の移転に伴う改正の説明した後、原案のとおり拍手にて承認された。

◆ 議長は質問を受ける旨発言

【質疑応答】

【質問1】 中部地区・三崎町町会 篠崎町会長

広告協賛のスポンサーは誰が担当するのか。以前、町会担当としてスポンサーを募るために、町会長がセールスに歩いた。実際に勧誘するのは広報部などが担当するなどのルール作りがあってもいいのではないか。

《回答》 主に広報部長と印刷会社が協力しながら、スポンサー担当業務を行っている。勧誘の考え方については、財源確保の観点からも、安定した収入となる固定したスポンサーの開拓は必要と考えており、町会長の皆様にご協力をいただくことで、固定したスポンサーの掘り起こしにつながる重要な取り組みと認識している。今後も会長を筆頭に安定した財源確保にむけ、固定スポンサーの開拓に尽力したいので、ぜひ情報提供を含め、ご協力をお願いしたい。

【質問2】 元八地区・式分方町一丁目町会 佐藤町会長

人件費が前年に比して500万円ほど上がっている理由は。また、人件費があがることで、事業計画にどのように反映していくのか。

《回答》 町自連業務も、年々複雑化、多様化しており、計画した事業を執行していくうえでも、正規職員の配置が必要となっている。しかし、新たな人件費の確保が難しいことから、市と調整を図り、行政OBを正規事務として受け入れ、その人件費を行政が負担した結果、人件費が、歳入、歳出とも増額となったもの。

【質問3】 東南部地区・子安町一丁目町会 遠藤町会長

増額した補助金には、事務所移転経費のほか、人件費も含まれているとの説明があった。この人件費は事業に対する比率で割られたものか。

《回答》 事業費に対する割合で人件費が補助されていない。あくまでも正規職員の人件費として補助されたもの。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第6号議案 平成令和年度事業計画(案)、第7号議案 令和元年度予算(案)について採決を行ったところ、原案のとおり満場一致の拍手にて承認され、各議案に記載された(案)を削除するよう伝えた。

5. 報告事項

- ◆ 議長は報告事項「規程の一部改正報告」を事務局より報告させた。
富貴澤事務局次長から規程の一部改正について総会資料により報告した。
- ◆ 議長は全議案の審議が終了し承認された旨宣言し降壇した。


6. 退任町会自治会長に感謝状贈呈


小室副会長・会長代行は、表彰規程により平成30年度末にて退任した、在任4年以上の表彰対象者24名へ感謝状を贈呈した。

7. 閉会の辞

司会の廣元常任理事により第17回定期総会を18時03分閉会した。

令和 元年 6 月 / / 日

議事録署名人 _____ 常任理事 内田 豊 

議事録署名人 _____ 常任理事 高橋 文夫 

町自連 第16回 定期総会 議事録

日 時 平成30年5月27日(日) 16時04分開会 17時37分閉会
場 所 八王子エルシィ 3階

野崎忠行 常任理事・元八地区連合会会長の司会により進行

1. 開会の辞

野崎忠行 常任理事・元八地区連合会会長により、開会した。

2. 秋間会長挨拶

皆様、こんにちは、本日はお忙しい中、多くの方々にご出席を頂きありがとうございます。日頃より、町会自治会活動にご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

昨年八王子市は市制100周年を祝い、メイン会場の富士森公園では全国都市緑化フェアが開催され、多くの方が来場され記念すべき年でした。ご協力ありがとうございました。

さて、私ども町会自治会連合会は「向こう三軒両隣」「互近助けあい」を基本とする共助の組織で、町会自治会を地区ごとにまとめ活動している組織で、現在、八王子市内では578団体、154,059世帯が登録され、うち町会自治会連合会加盟は354団体、120,611世帯を擁する会となっております。

町会自治会連合会は、行政と地域住民を結ぶ中心的な組織として、地域コミュニティを形成し、重要な役割を果たしており、活動の基本は、

第1、各地区連合会の活動を尊重しつつ活性化の推進を図る

第2、集合体である地区連合会は、定例会を月1回開催し、地域の情報や町自連役員会の報告を地域、各町会自治会に周知徹底を図る

第3、地区連合会相互の情報交換と広域に亘る課題の解決に向け事業を進めて行く

町会自治会連合会は、市内の町会、自治会、管理組合を代表する組織として、行政に対し、町自連の位置づけを主張し、行政の各種審議会や委員会についても積極的に代表を送り出しております

管理運営も効率良く機能を充実、総務部・広報部・事業部・組織部等専門部を設置、今年度新に生活安全部を設け、副会長が中心となり各部を運営、事業の進捗を図っております。

加入促進につきましても、東京都地域の底力発展事業助成を活用し、のぼり旗及びポスター掲出、加入促進ハンドブックの活用、また、不動産関連団体支部と相互協力の協定を締結しております。

今年度は横山南地区連合会において箱ヶ丘自治会500世帯、元八王子地区連合会では横川町住宅自治会731世帯が加入いたしました。連合会としては、更なる加入促進を進めていきたいと考えております

東京都町会連合会の連携についても広く情報の共有を図ると共に、課題解決に向け連携を強化し、多摩地区については、現在、八王子市・町田市・府中市・立川市・調布市・狛江市・青梅市の順に加入し、東久留米・福生・多摩市の3市も近々加入予定で、多摩が一つになる日も近いかと思われ、これから、区、市町村、各町会自治会との連携を密にし、安全安心に暮らせる街づくりを目指し、皆さんと共に努力して行きたいと考えております。

結びに今総会が円滑に進みますことをお願いし挨拶いたします。

【総会成立報告】

- ◆ 司会者は総会成立状況を事務局長より報告させた。

事務局長より総会成立報告

町自連加入 356 団体中、出席 146 団体、委任状 155 団体、合計 301 団体となり、二分の一以上と過半数を超えており、会則第 12 条 4 項により総会は成立する旨報告

3. 議長選出

- ◆ 司会者より議長は会則第 12 条 3 項により選出したいが如何するかの発言があり、出席者より司会者一任の発言があり、満場異議なしとなり司会者に一任となった。
司会者は、浅井雄治 常任理事・鎌水尾根協議会会長を指名した。

【議長登壇】

- ◆ 議長は次の 2 名を議事録署名人として指名した。
議事録署名人
野崎忠行 常任理事・元八地区連合会会長
荒井富雄 常任理事・川口地区連合会会長
以下、議長により議事に入った。

4. 議 事

- ◆ 議長は第 1 号議案平成 29 年度事業報告、第 2 号議案平成 29 年度決算報告、第 3 号議案平成 29 年度監査報告を一括上程した。各議案上程、報告後質問を受ける事とする。

(1) 第 1 号議案 平成 29 年度 事業報告

- ① 総括、前野事務局長より総会資料により説明・報告した。
以下、各部会の部長より報告する。
- ② 総務部報告、小室総務部長から総会資料により説明・報告した。
- ③ 広報部報告 廣元広報部長から総会資料により説明・報告した。
- ④ 事業部報告 上田事業部長から総会資料により説明・報告した。
- ⑤ 組織部報告 成瀬組織部長から総会資料により説明・報告した。
- ⑥ 生活安全部報告 生永生活安全部長から総会資料により説明・報告した。

(2) 第 2 号議案 平成 29 年度決算報告

河西会計から総会資料により説明・報告した。

(3) 第 3 号議案 平成 29 年度監査報告

山崎・石井・木住野監事を代表し、山崎監事が次のように報告した。

- ① 会計監査については、平成 30 年 4 月 3 日会計帳簿及び関係書類を閲覧等必要な監査手続きを用いて検査し正確性を検討した。
- ② 業務監査については、定例三役会、常任理事会に出席し業務報告を聴取し、関係書類の閲覧等業務執行の妥当性を検討した。
その結果決算報告は正確且つ妥当と認めます。事業報告は真実であると認めます。

- ◆ 議長は質問を受ける旨発言

発言者は氏名、地区名及び所属団体名を名乗り発言をして欲しい旨説明した。

【質疑応答】

【質問 1】 中部地区・篠崎三崎町町会長

「町自連だより」地区特集はいつまで継続されるのか又広告掲載の協力と料金徴収については今後の課題となるのでは

《回答》特集号の扱いについては 23 地区情報掲載につき現時点において期限は決まっては

いません。なお、広告料金徴収についてはご意見として頂戴いたします

【質問 2】横山南地区・後藤散田本町町会長

「町自連だより」と八王子市報、FM八王子との接点について？防災時の関り合やPRについて、どのような考えがあるのか？

《回答》FM八王子については町自連から顧問として参画しており逐次情報を共有している
なお、今後課題について検討し、進めていきたい

【質問 3】南部地区・加藤緑町西町町会長

ホームページの今後の展開と、アクセス数及び地区毎の充実度の格差について、今後の高め方についての考えを知りたい

《回答》アクセス件数は月に 2000 件～3000 件、地区毎の充実度のバラツキについてはホームページの研修会を実施し各地区の協力によりアクセス件数を増やして行きたい。
情報発信については紙ベースとホームページの部分を並行して発信しております。
記事については素早い対応を計り情報の共有を計っております
地区の広報部の情報の入力発信によりアクセス数の増加が期待される。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認
会場より異議なしとの発言あり

- ◆ 議長は第 1 号議案平成 29 年度事業報告、第 2 号議案平成 29 年度決算報告、第 3 号議案平成 29 年度監査報告について採決を行った。
原案のとおり満場一致の拍手にて承認された。

- ◆ 議長は第 4 号議案役員選出を上程した。

(4) 議長は第 4 号議案 役員選出を上程
前野事務局長より今年度副会長退任に伴う役員を選考について提案
秋間会長より会則第 7 条に基づき 5 月 8 日の常任理事会において、副会長の候補者を推薦し、諮った結果、承認されたので下記のとおり提案します。
副会長 石井 修一 横山南地区連合会長

- ◆ 議長は第 4 号議案について諮ったところ、
原案のとおり満場一致の拍手にて承認された。

- ◆ 議長は第 5 号議案平成 30 年度事業計画(案)、第 6 号議案 平成 30 年度予算(案)を一括上程した。

(5) 第 5 号議案 平成 30 年度 事業計画(案)

- ① 総括、前野事務局長より総会資料により説明・提案した。
以下、各部会の部長より説明・提案する。
- ② 総務部報告 小室総務部長から総会資料により説明・提案した。
- ③ 広報部報告 石井広報部長から総会資料により説明・提案した。
- ④ 事業部報告 上田事業部長から総会資料により説明・提案した。
- ⑤ 組織部報告 成瀬組織部長から総会資料により説明・提案した。
- ⑥ 生活安全部報告 生永生活安全部長から総会資料により説明・提案した。

(6) 第 6 号議案 平成 30 年度 予算(案)

前原会計から総会資料により、説明・提案した。

【質疑応答】

【質問 1】 横山南地区・五十嵐狭間町会長

ホームページの金額が多いが容量とサーバーはクラウド上あるいは事務所？

《回答》サーバーは 2 ギガから 10 ギガに増設、料金についても 54,000 円から 108,000 円になり、サーバーはクラウドコンピューティングです。

【質問 2】 中部地区・篠崎三崎町町会長

特別会計について昨年同様金額で変化がない、定期預金の掛金期間は？

《回答》定期預金の利子は一般会計に繰入れ、一年間の定期預金です

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第 5 号議案平成 30 年度事業計画(案)・第 6 号議案平成 30 年度予算(案)について採決を行った。

原案のとおり満場一致の拍手にて承認された。

- ◆ 議長は報告事項「規程の一部改正報告」を事務局より報告させた。

5. 報告事項

富貴澤事務局次長から規程の一部改正について総会資料により、報告した。

- ◆ 議長は全議案の審議が終了し承認された旨、宣言し降壇した。

6. 退任町会自治会長に感謝状贈呈

表彰規程により平成 29 年度末にて退任した在任 4 年以上の表彰対象者 21 名、総会出席者 7 名への感謝状を秋間会長より贈呈した。

7. 閉会の辞

司会の野崎忠行常任理事・元八地区連合会長により 17 時 37 分閉会した。

平成 30 年 6 月 12 日

議事録署名人

常任理事 荒井昌雄



議事録署名人

常任理事 野崎忠行



町自連 第15回 定期総会 議事録

日 時 平成 29 年 5 月 28 日(日) 17 時開会 18 時 18 分閉会
場 所 八王子エルシィ 3 階

中嶋廣一常任理事・西部第一地区連合会長の司会により進行

1. 開会の辞

中嶋廣一常任理事・西部第一地区連合会長により定刻に開会した。

2. 秋間会長挨拶

皆様、今晚は、本日はお忙しい中、多くの方々にご出席を頂きありがとうございました。日頃より町会・自治会活動にご理解ご協力を頂き感謝申し上げます。

東日本大震災以降、各地で地震や台風など災害が多く発生しており、昨年の熊本地震では多くの尊い命が失われ、熊本城も大きな被害を受けました。町自連では町会自治会等に呼びかけ募金活動を行い 14,200,000 円を八王子市を通じて被災地へ届けて頂きました。ご協力ありがとうございました。

さて、昨年度は公職選挙法が改正され、18 才以上の有権者が投票できるようになりました。東京都では都知事選が行われ、小池都知事が誕生し都民ファーストが話題になっております。そしてリオのオリンピックでは、八王子出身で女子柔道 52 kg 級の中村美里さんが銅メダルを獲得しました。八王子市においても本年度は市制 100 周年を迎え大きな賑わいをみせております。

さて、私ども町会自治会連合会は「向こう三軒両隣」の考えの下 352 町会自治会を 23 地区の連合会にまとめ、活動をしている団体です。

それぞれの地区連合会長さんが、総務、広報、事業、組織部の 4 つの部に分かれ活動し、平成 28 年度、予定してございました事業も滞りなく終わることが出来ましたのも皆様のご協力のおかげであり深く感謝の意を申し上げます。

町自連活動の一つ目として宝くじ財団の資金及び八王子市の支援制度を活用し各町会自治会に備品の提供事業の実施、また、町自連だよりの発行は町自連活動を広く知ってもらうため年 4 回の発行を行い、地域の連携をより強固なものにするため、地区の特集を実施しています。そして毎年行っております新任町会長及び役員研修会も定着し多くの新任町会長さんに期待され順調に成果をあげています。

加入促進につきましても、東京都地域の底力再生事業助成を活用し、のぼり旗及びポスター掲出、不動産関連団体支部と相互協力の協定を締結し、更なる加入促進を進めております。

二つ目としまして、市長と町自連三役との定例懇談会を行い、夜間の AED 利用確保、周辺部の公共交通機関の充実など話合いを進めています、市の条例において、町自連の位置づけを定めるよう市に要望を行っています。

東京都町会連合会及び全国自治会連合会との連携を密にし、都町連と全自連の情報を広く共有しております、現在、八王子市、町田市、府中市、立川市の四つの連合会が加盟しています、今年度、昭島市と調布市の加盟が予定されており、多摩市、稲城市、あきる野市におかれましても準備が進められているようです、多摩が一つになることで都への要望も強くなり、多摩格差是正に取り組んで行きたいと考えております、そのための手段として、未加盟の各市へ対し都町連への加盟を強く進めて行く所存です。

三つ目は、八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会が取り組んでいる、救急医療情報カードは高齢者への対応として重要なもので今後も町自連として協力して行きたいと思っておりますので、これからも、皆様方のご協力をお願いし挨拶といたします。

3. 総会成立報告

司会者は総会成立状況を事務局長より報告させた。

事務局長より総会成立報告

町自連加入 352 団体中、出席 129 団体、委任状 170 団体、合計 299 団体となり、二分の一以上と過半数を超えており、会則第 12 条 4 項により総会は成立する旨報告があった。

4. 議長選出

司会者より議長は会則第 12 条 3 項により選出したいが如何するか発言があり、出席者より司会者一任の発言があり、満場異議なしとなり司会者に一任となった。

司会者は常任理事・東部地区連合会長の上田幸夫氏を指名した。

【議長登壇】

議長は次の 2 名を議事録署名人として指名した。

議事録署名人

浅井雄治 常任理事・鏈水尾根協議会会長

石井修一 常任理事・横山南地区連合会長

以下、議長により議事に入った。

5. 議 事

- ◆ 議長は第 1 号議案平成 28 年度事業報告・第 2 号議案平成 28 年度決算報告・第 3 号議案平成 28 年度監査報告を一括上程した。
各議案上程後質問を受ける事とする、発言者は氏名、地区名及び所属団体名を名乗り発言をして欲しい旨説明した。

(1) 第 1 号議案 平成 28 年度 事業報告

- ① 総括、前野事務局長より総会資料により説明・報告した。
以下、各部会の部長より報告する。
- ② 総務部報告、小室総務部長から総会資料により説明・報告した。
- ③ 広報部報告 栗本広報部長から総会資料により説明・報告した。
- ④ 事業部報告 生永事業部長から総会資料により説明・報告した。
- ⑤ 組織部報告 成瀬組織部長から総会資料により説明・報告した。

(2) 第 2 号議案 平成 28 年度決算報告

福田会計より総会資料により説明・報告した。

(3) 第 3 号議案 平成 28 年度監査報告

山崎・水城・木住野監事を代表し山崎監事が次のように報告した。

- ① 会計監査については、平成 29 年 4 月 5 日会計帳簿及び関係書類を閲覧等必要な監査手続きを用いて検査し正確性を検討した。
- ② 業務監査については、定例三役会、常任理事会に出席し業務報告を聴取し、関係書類の閲覧等業務執行の妥当性を検討した。
その結果決算報告は正確且つ妥当と認めます。
事業報告は真実であると認めます。

【質疑応答】

議長は質問を受ける旨発言

会場より異議なしとの発言あり

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第 1 号議案平成 28 年度事業報告・第 2 号議案平成 28 年度決算報告・及び第 3 号議案監査報告について採決を行った。

原案のとおり満場一致の拍手にて承認された。

(4) 議長は第 4 号議案 役員選出を上程

会場に【第 4 号議案の 1】及び【第 4 号議案の 2】の役員候補者名簿を配布。

①【第 4 号議案の 1】

役員選考委員会委員長大澤常任理事・加住地区連合会長より報告。

任期満了に伴う役員の選考について、会則第 7 条に基づき、3 月 14 日の定例常任理事会において、役員選考委員会を発足させて人選を進め、全ての候補者が揃ったところで、4 月 11 日の常任理事会に諮った結果、承認されましたので、候補者を下記のとおり提案します。

会 長 秋間 利久 元横地区連合会長
監 事 石井 修一 横山南地区連合会長
監 事 山崎 勲介 西部第二地区連合会
監 事 木住野暢大 西部第三地区連合会

- ◆ 議長は第 4 号議案の 1 について諮ったところ、会場より異議なしの発言あり

原案のとおり満場一致の拍手にて承認された。

②【第 4 号議案の 2】

秋間会長より任期満了に伴う役員の選考について、会則第 7 条に基づき 4 月 11 日の常任理事会において、役員選考委員会から提案された会長候補が承認されたことを受けて、会長候補者が副会長及び会計の候補者推薦に着手し 5 月 9 日の常任理事会に諮った結果、承認されたので候補者を下記のとおり提案いたします。

副会長 成瀬 義雄 中央地区連合会長
副会長 生永 恭博 横山北地区連合会長
副会長 小室 崇司 中部地区連合会長
副会長 廣元 湧 北野地区連合会長
副会長 上田 幸夫 東部地区連合会長
会 計 河西萬智朗 本町地区連合会長
会 計 前原 教久 恩方地区連合会長

- ◆ 議長は第 4 号議案の 2 について諮ったところ、

原案のとおり満場一致の拍手にて承認された。

【秋間会長就任挨拶】

平成 29 年度及び平成 30 年度、町自連を更なる町自連にする一生懸命頑張りますので皆様のお力をお貸し頂くようよろしくお願い申し上げます。

- ◆ 議長は第 5 号議案平成 29 年度事業計画(案)及び第 6 号議案 平成 29 年度予算(案)を一括上程した。

(5) 第 5 号議案 平成 29 年度 事業計画(案)

- ① 総括、前野事務局長より総会資料により説明・報告した。

以下、各部会の部長より説明・報告する。

- ② 総務部報告 小室総務部長から総会資料により説明・報告した。
- ③ 広報部報告 栗本広報部長から総会資料により説明・報告した。
- ④ 事業部報告 生永事業部長から総会資料により説明・報告した。
- ⑤ 組織部報告 成瀬組織部長から総会資料により説明・報告した。

(6) 第6号議案 平成29年度 予算(案)

廣元会計より総会資料により、説明・報告した。

【質疑応答】

【質問1】「町自連だより」の配布について、広告協賛依頼に訪問したところ、町会に入っているのに初めて見たと言われた、配布状況について聞きたい。

《回答1》配布は町自連に加入の全町会自治会へ全戸配布数量を送っている、町自連未加入団体へも1部会長あて発送している、各町会にての配布を必ずお願いしたい

【質問2】理事の数は何名か、町会の会計処理の研修会実施をお願いしたい。

《回答2》理事数は、23地区連合会長23名が常任理事で、監事2名が理事で計25名
その他に事務局が3名である。研修会の件は前向きに検討する。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第5号議案平成29年度事業計画(案)・第6号議案平成29年度予算(案)について採決を行った。
原案のとおり満場一致の拍手にて承認された。

6. 報告事項

規程の一部改正について総会資料36ページを基に富貴澤事務局次長より報告した。

- ◆ 議長は全議案の審議が終了し承認された旨、宣言し降壇した。

7. 退任町会自治会長に感謝状贈呈


表彰規程により平成28年度末にて退任する在任4年以上の別紙表彰対象者39名、総会出席者7名への感謝状を秋間会長より贈呈した。

8. 閉会の辞

司会の中嶋廣一常任理事・西部第一地区連合会長により18時18分閉会した。

平成29年6月13日

議事録署名人 常任理事 浅井雄治 

議事録署名人 常任理事 石井修一 

町自連 第14回 定期総会 議事録

日 時 平成 28 年 5 月 29 日(日) 17 時開会 18 時 15 分閉会
場 所 八王子エルシィ 3 階

上田常任理事・東部地区連合会長の司会により進行

開会の前に 4 月 14 日発生しました熊本地震に於ける犠牲者を悼み黙祷を奉げた。

1. 開会の辞

上田東部地区連合会長により定刻に開会した。

2. 秋間会長挨拶

はじめに、熊本地震義援金の中間報告をいたします、5 月 27 日現在、219 団体、9,726,67 円となり、引き続き受付けています。ご協力ありがとうございます。

本日はお忙しい中、多数のご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より、町自連に深いご理解と協力を頂き、心より感謝いたしております。

27 年度は関東・東北豪雨による鬼怒川が決壊し大きな被害が発生し、又 4 月には熊本地震と大きな被害が続いておりますが、明るい話題もありました、ラグビーワールドカップで日本が歴史的な活躍をし、大村氏・梶田氏のノーベル賞の受賞、北陸新幹線の開業と明るいニュースもありました。

私たち、八王子市町会自治会連合会は「向こう三軒両隣」「互近助けあい」を基本とした「助け合い」と「共助」の組織である町会・自治会等を地区ごとに纏めている団体です。

市内の町会・自治会・管理組合は 572 団体、155,709 世帯が登録されていますが、このうち「町自連」は 334 団体、121,892 世帯を擁し、市内を代表する町会自治会の連合会となっています。

活動の基本は、第一に各单位町会・自治会・管理組合の自主性を尊重しつつ活性化の促進、第二に集合体である地区連合会の定例会を毎月実施することで地域の課題への対応、情報交換、更に町自連役員会の報告等を町会自治会に周知すること、第三に地区連合会同志の情報交換と広域にわたる課題の解決に向けた事業を進めていくことにしています。地区連合会の定例会を通じた地区毎の活動を中心に進めていますが、未だに軌道にのっていない地区連合会があることも事実です。これからは全ての地区連合会で定例会が毎月または少なくとも隔月には開催され、地域課題の解決に向けた努力が喫緊の課題となっています。

町自連は市内の町会・自治会・管理組合を代表する組織として、行政に対しても町会・自治会・管理組合の位置づけについて主張し併せて、協力すべきことは協力することで町自連の主張を行政に活かしてもらうことを積極的に進めています、具体的には町自連に提起された行政に関わりのある課題や問題点及び行政からの協力要請等について随時話合いの場をもって 28 年 2 月に市長との懇談会を開催しました、更に行政の各種審議会・委員会にも積極的に代表を送り込み町自連も主張を反映するべく努めてまいりました。

最後に八王子市へ町会・自治会の位置づけを条例化するよう要請していることを報告させていただきます。

本日はご出席ありがとうございます。

3. 総会成立報告

司会者は総会成立状況を事務局長より報告させた。

事務局長より総会成立報告

町自連加入 334 団体中、出席 158 団体、委任状 121 団体、合計 279 団体となり二分の一以上、過半数 167 団体・83.5%の出席となり、会則第 12 条 4 項により総会は成立する旨報告があった。

4. 議長選出

司会者より議長は会則第 12 条 3 項により選出したいが如何するか発言があり、出席者より司会者一任の発言があり、満場異議なしとなり司会者に一任となった。

司会者は常任理事・西部第一地区連合会長の中嶋廣一氏を指名し、出席者の同意を得た。

【議長登壇】

議長は次の 2 名を議事録署名人として指名した

議事録署名人

渡辺豊久 常任理事・横山南地区連合会長

串田孝義 常任理事・浅川地区連合会長

以下、議長により議事に入った。

5. 議 事

- ◆ 議長は第 1 号議案平成 27 年度事業報告・第 2 号議案平成 27 年度決算報告・第 3 号議案平成 27 年度監査報告を一括上程した。

各議案上程後質問を受ける事とする、発言者は氏名、地区名及び所属団体名名乗り発言をして欲しい旨発言した。

(1) 第 1 号議案 平成 27 年度 事業報告

①総括、前野事務局長より総会資料により説明・報告。

以下、各部会の部長より報告する。

②総務部報告、小室総務部長から総会資料により説明・報告した。

③広報部報告 栗本広報部長から総会資料により説明・報告した。

④事業部報告 生永事業部長から総会資料により説明・報告した。

⑤組織部報告 成瀬組織部長から総会資料により説明・報告した。

(2) 第 2 号議案 平成 27 年度決算報告

福田会計より配布の総会資料により説明・報告した。

(3) 第 3 号議案 平成 27 年度監査報告

山崎・水城・木住野監事を代表し山崎監事が次のように報告した。

① 会計監査については 平成 28 年 4 月 7 日会計帳簿及び関係書類を閲覧等必要な監査手続きを用いて検査し正確性を検討した。

② 業務監査については、三役会、役員会に出席し業務報告を聴取し関係書類の閲覧等業務執行の妥当性を検討した。

その結果決算報告は正確且つ妥当と認めます。

事業報告は真実であると認めます。

【質疑応答】

【質問 1】 ロゴマークの襟章等の作成は計画しているか

《回答》費用も掛かることでもあり、襟章・ピンバッジ等作成は今後の課題である。

【質問 2】 設備整備支援補助金の交付について抽選方法について、決定後納品まで 1 年以上係るのはなぜか。

《回答》抽選は市協働推進課立ち合いの基に簡単な抽選機にて行っている。

この助成は宝くじ財団の助成であり、申請から交付まで、八王子市・東京都・宝くじ財団と経由があり申請の際に品目数量を明確に申請しなければならないため事前申請が必要となり交付まで期間がかかる。

【質問 3】 熊本地震義援金の 1 軒あたりなど金額の指定が無かったのはなぜか

《回答》東日本大震災の際も同じであったが、皆様の善意をお願いするので金額は一切指定はしていません。

【質問 4】 町自連研修会の山村講師を招いて、講演会・研修会をおこないたいが、町自連として講師紹介等サポートしてもらえないか

《回答》検討する。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第 1 号議案平成 27 年度事業報告・第 2 号議案平成 27 年度決算報告・及び第 3 号議案監査報告について採決を行った。 原案通り満場一致の拍手にて承認された。

(4) 議長は第 4 号議案 規程の一部改定を上程した。
規程の改定について総会資料により富貴澤事務局次長より報告・説明。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第 4 号議案会規程の一部改定について諮ったところ、原案通り満場一致の拍手にて確認された。

- ◆ 議長は第 5 号議案平成 28 年度事業計画(案)及び第 6 号議案 平成 28 年度予算(案)を一括上程した。

(5) 第 5 号議案平成 28 年度 事業計画(案)

- ① 総括、前野事務局長より総会資料により説明・報告した。
以下、各部会の部長より説明・報告する。
- ② 総務部報告 小室総務部長から総会資料により説明・報告した。
- ③ 広報部報告 栗本広報部長から総会資料により説明・報告した。
- ④ 事業部報告 生永事業部長から総会資料により説明・報告した。
- ⑤ 組織部報告 成瀬組織部長から総会資料により説明・報告した。

(6) 第 6 号議案平成 28 年度 予算(案)

廣元会計により配布総会資料により、説明した。

【質疑応答】

【質問 1】 加入促進の件であるが、町会は不要のような報道が多いが、転入者に対し市民課窓口等で町会への加入促進が積極的でない。

《回答》 町会の条例化により加入促進を説得する義務を職員に負わせることが可能となる品川区では条例化により行政として義務を負わせている。

八王子市へも条例化に努力して行く。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第 5 号議案平成 28 年度事業計画(案)・第 6 号議案平成 28 年度予算(案)について採決を行った。 原案どおり満場一致の拍手にて承認された。
- ◆ 議長は全議案の審議が終了し承認された旨、宣言し降壇した。

6. 閉会の辞

司会の上田東部地区連合会長により 18 時 15 分閉会した。その後 27 年度末退任会長への感謝状贈呈に移った。

7. 退任町会自治会長に感謝状贈呈

表彰規程により平成 27 年度末にて退任する在任 4 年以上の別紙表彰対象者 33 名、総会出席者 6 名への感謝状を秋間会長より贈呈した。

平成 28 年 6 月 14 日

議事録署名人

串 田 厚 義



議事録署名人

渡 辺 豊 久



町自連 第13回 定期総会 議事録

日 時 平成27年5月31日(日) 17時開会 18時閉会

場 所 八王子エルシー 3階

塩野副会長の司会により進行

1. 開会の辞

中島副会長により定刻に開会した。

2. 秋間会長挨拶

皆様こんにちは、新緑の美しい季節もそろそろ終わりにかかっております。

本日はお忙しい中このように大勢の皆様にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より、町自連に深いご理解と協力を頂き、心より感謝いたしております。

昨年4月には消費税が5%から8%にあがり、わたくしたちの生活に戸惑いもありましたが、ここにきて少し落ち着いてきたように思われます。

6月には富岡製糸場が世界文化遺産に登録されましたが、一方、東日本大震災も4年が経過しましたが、いぜん風評被害に悩まされているようでございます、復興も思うように進まず、仮住まいで余儀なくされている方々も多く、孤独死がまだ後を絶たない中、8月には広島市北部で大きな土砂災害、9月には御嶽山が噴火し多くの尊い命が失われました。

そして今、箱根大涌谷で水蒸気噴火が心配され、自然の脅威を思い知らされました、いつ起きるか判らない天災に十分な注意と心構えが必要と思えます。

さて、町会自治会連合会は「向こう三軒両隣り」を基本とした「和」と「絆」を大切にする組織を地区毎に纏めている組織でございます。

町自連結成以来、単位町会・自治会の自主性を尊重しつつ、地区連合会の活動を基本として、連合会相互の情報交換をはじめ、親睦を深める活動を展開してまいりました。活動領域は皆様の努力により着実に拡大され「自治会活動賠償責任保険」「パソコン研修会」「新任会長及び役員研修会」「町自連だよりの発行」「ホームページ」等による広報活動、地区連合会の活性化等市民の要望に反映する事業を多く行ってまいりました。

活動を進める中、近年行政の信頼も厚く、社会福祉協議会・学園都市文化ふれあい財団・観光協会、等と同様に肩を並べて活動するようになりました。

こうした活動を進める中、町会・自治会・管理組合からの問合せ、種々の要望に応えるため事務局体制の見直し、町自連の強化を進めてまいります。

これからも「向こう三軒両隣り」の考えの基、地域の絆を大切に会の発展に努力する事を誓いまして、私の挨拶とさせていただきます。

3. 総会成立報告

司会者は総会成立状況を事務局長より報告させた。

事務局長より総会成立報告

町自連加入 321 団体中、出席 157 団体、委任状 92 団体、合計 249 団体となり二分の一以上、過半数 161 団体以上の出席となり、会則第 12 条 4 項により総会は成立する旨報告があった。

4. 議長選出

司会者より議長は会則第 12 条 3 項により選出したいが如何するか発言があり、出席者より司会者一任の発言があり、満場異議なしとなり司会者に一任となった。

司会者は中部地区連合会長の小室崇司氏を指名し、出席者の同意を得た。

【議長登壇】

議長は次の 2 名を議事録署名人として指名した

議事録署名人

高橋文夫 由井地区連合会長

大澤敬之 加住地区連合会長

以下、議長により議事に入った。

3. 議 事

- ◆ 議長は第 1 号議案平成 26 年度事業報告・第 2 号議案平成 26 年度決算報告・第 3 号議案監査報告を一括上程した。

各議案上程後質問を受ける事とする、発言者は氏名、地区名及び所属団体名名乗り発言をして欲しい旨発言した。

(1) 第 1 号議案 平成 26 年度 事業報告

今泉副会長より配布の総会資料により説明・報告した。

(2) 第 2 号議案 平成 26 年度決算報告

廣元会計より配布の総会資料により説明・報告した。

(3) 第 3 号議案 平成 26 年度監査報告

成瀬・山崎両監事を代表し成瀬監事が次のように報告した。

① 会計監査については 平成 27 年 4 月 20 日会計帳簿及び関係書類を閲覧等必要な監査手続きを用いて検査し正確性を検討した。

② 業務監査については、三役会、役員会に出席し業務報告を聴取し関係書類の閲覧等業務執行の妥当性を検討した。

その結果決算報告は正確且つ妥当と認めます。

事業報告は真実であると認めます。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第 1 号議案平成 26 年度事業報告・第 2 号議案平成 26 年度決算報告・及び第 3 号議案監査報告について採決を行った。 原案通り満場一致の拍手にて承認された。

(4) 議長は第 4 号議案 会則の一部改定を上程した。

(1) 会則の改定について趣旨説明を富貴澤事務局次長より説明。

本会の運営組織を強化するとともに、運営に関わる役員の立場を明確にし、外部活動を円滑に行うため、呼称変更及び役員の増員等を行う、本会の呼称及び構成団体の明確化等の規程整備を行うために会則の改定を提案した。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第4号議案会則の一部改定について採決を行った。原案通り満場一致の拍手にて承認された。

(5) 議長は第5号議案 役員選出を上程した。

上程を前に第5号議案の1、及びに第5号議案の2を会場に配布した。

① 第5号議案の1

任期満了に伴う役員の選考について、会則第7条に基づき役員選考委員会委員長栗本由木地区連合会長より下記の方々を役員候補者として定例役員会にて承認いたしましたので提案いたします。

会長候補 秋間利久
監事候補 山崎訓介
監事候補 水城靖雄 木住野暢大

② 5号議案の2

秋間会長候補者より配布の議案書により役員候補者を次のように提案した。

副会長候補 今泉満政、成瀬義雄、栗本正男、生永恭博、小室崇司、
会計候補 廣元 洸、福田一訓

- ◆ 議長は第5号議案、役員改選について採決を行った原案とおりの満場一致の拍手にて承認された。

【新会長挨拶】

ただいま、会長に選任されました、秋間でございます。

皆様のご協力の基、平成27年度28年度八王子市町会自治会連合会のため一生懸命頑張ります。

さて、会の運営ですが「向こう三軒両隣」を基本とした活動を進める中で、年々行政からの信任もあつく、他の各関連団体と同時に肩を並べた活動をするようになりました、その中で町会・自治会・管理組合からの問合せや種々の要望も増加し多忙を極めております、又、事務局につきましても今までのボランティアによる運営にも限界があるため、専任の事務局員を配置する必要性を感じ、八王子市に強く要望いたしてまいりました、協議の結果、人件費の補助は困難なため、事務局の強化という事で補助金増額と人材の提供をする旨の回答を頂き市の提案どおり受け入れる事となりました、今後、会の運営に万全を期してまいりますのでご協力の程よろしくお願い申しあげ、わたくしの挨拶といたします。

- ◆ 議長は第6号議案及び平成27年度事業計画(案)及び第7号議案 平成27年度予算(案)を一括上程した。

(5) 平成27年度 事業計画(案)

前野事務局長により配布総会資料により27年度の【基本姿勢】及び【今年度も重

点事業】を中心に説明・報告した。

(6) 平成 27 年度 予算(案)

廣元会計により配布総会資料により、収入の部の内、市補助金の増額及び収入総額の前年よりの増額分の詳細及び支出の部、人件費の増額分を中心に説明・報告した。

【質疑応答】

【質問 1】

東京都の助成金の単位町会上限 20 万円の助成が受けられるとの説明があったがその詳細を知りたい。

《回答》

飲食、観光は助成外となる、防災器具購入、訓練については都も重点を置いている、27 年度の助成ガイドブックは地区連合会長に渡してあるのでお聞きください、なお町自連事務局にもあるので、お問合せください。

「地域の底力再生事業助成」都のホームページからも申請書及び説明が掲載されている、27 年度から予算も 1 億 5 千万円と増額されている、今年度から助成範囲が地区で 100 万、複数の団体と町会との合同事業で 30 万、複数の町会での事業で 50 万と申請しやすくなっている、ご利用ください。

【質問 2】

予算(案)の収入の部で市補助金の中に人件費関係が含まれているとの説明があったが適用欄を見るとその標記がない、加入促進・広報他 800 万とあるがその中と思われるが、なぜ、人件費としての標記をしなかった理由は何か。

《回答》

市の外郭団体も同じであるが、行政からの直接の人件費補助は条例で禁止されている、都町連事務局で調べたが同じであった、委託事業に対する事務費としての人件費を含む事は可能である。

今年度の補助金も表向きに人件費補助はできない、事務局強化として、加入促進・広報・相談業務は事務局が直接関わっている事業であるのでその費用の中に織り込むしか方法がない、あとの補助金、地区交流・設備備品整備事業補助金は用途限定の補助金である。

【質問 3】

予算(案)収入の部の内その他の補助金及び雑収入が前年度に比べ減額されているが今年度大丈夫か。

《回答》

これはパソコン研修会に関わるものでその研修会の受講料収入であり、受講者の増減のためである。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第 6 号議案平成 27 年度事業計画(案)・第 7 号議案平成 27 年度予算(案)について採決を行った。原案どおり満場一致の拍手にて承認された。

- ◆ 議長は全議案の審議が終了し承認された旨、宣言し降壇した。

4. 閉会の辞

塩野副会長により 18 時 00 分閉会した。その後 26 年度末退任会長への感謝状


贈呈に移った。

5. 退任町会自治会長に感謝状贈呈

表彰規程により平成 26 年度末にて退任する在任 4 年以上の別紙表彰対象者 27 名、総会出席者 3 名への感謝状を秋間会長より贈呈した。

平成 27 年 6 月 9 日

議事録署名人 高橋 文夫  印

議事録署名人 大澤 敬之  印

町自連 第12回 定期総会 議事録

日 時 平成26年5月25日(日) 17時開会 18時30分閉会
場 所 八王子エルシー 3階

中島副会長の司会により進行

1. 開会の辞

中島副会長により定刻に開会した。

2. 秋間会長挨拶

皆様こんばんは、新緑が美しく爽やかな季節となりました。

本日はお忙しい中このように大勢の皆様にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より、町自連活動にご協力を頂き、心より感謝いたしております。

昨年は、長期にわたるデフレと景気低迷からの脱却を最優先として、発足した安倍政権による経済政策「アベノミクス」の効果で、永らく停滞していた日本経済が回復基調に転じ、さらに2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定の吉報は、東京だけではなく、日本全体に陽がさしたような明るさをもたらしました。

しかし、一方では東日本大震災による復旧・復興が道半ばの中、伊豆大島で1時間当たり最大150mmという記録的な大雨により、土石流災害が発生し、尊い人命のみならず、多くの家屋や財産が奪われました。

今年に入りましてからも、全国で記録的な大雪に見舞われ、あらゆる交通機関に多大なる影響を及ぼし、改めて自然の脅威を思い知らされました。

さて私達、町自連は「向こう三軒両隣」を基本とした助け合いの組織を地区毎に纏めている組織です。

町自連は、市内の町会・自治会・管理組合564団体156,404世帯が登録中321団体118,893世帯を擁する組織となっています。

町自連は結成以来、単位町会・自治会の自主性を尊重しつつ、地区連合会の活動を基本として、連合会相互の情報交換をはじめ、親睦を深める活動を展開してまいりました。

町自連が25年度発展的に行った活動に於いては「加入促進ハンドブック」を活用し各地区で町会への加入を呼びかけ、一定の成果を上げています、また伊豆大島の土石流災害で被災された方々への義援金募金ではおおくの町会・自治会よりご協力を頂き、大島町長へ手渡しする事ができました、八王子市長との定例的に懇談する場ができました。

私達町自連は市内の町会・自治会・管理組合を代表する組織として、行政に対し物を申すべきはしっかりと主張し、併せて協力すべき事は積極的に協力する事で私達の主張を行政に活かしてもらうよう積極的に進めてまいりました。

これからも「向こう三軒両隣」の考えを基に地域の絆を大切に皆様とともに町会活動をしっかりと行っていきたいと思います、そして今総会がスムーズに進行されますようご協力をお願いし挨拶いたします。

3. 司会者は総会成立状況を前野事務局長より報告させた。

事務局長より総会成立報告

町自連加入 321 団体中、出席 143 団体、委任状 117 団体、合計 260 団体となり二分の一以上、過半数 161 団体以上の出席となり、会則第 12 条 4 項により総会は成立する旨報告があった。

4. 議長選出

司会者より議長は会則第 12 条 3 項により選出したいが如何するか発言があり、出席者より出席者より司会者一任の発言があり、満場異議なしとなり司会者に一任となった。

司会者は由木地区連合会長の栗本正男氏を指名し、出席者の同意を得た。

【議長登壇】

(1) 議長は次の 2 名を議事録署名人として指名した

議事録署名

生永恭博 横山北地区連合会長

福田一訓 元八地区連合会長代行

以下、議長により議事に入った。

3. 議 事

◆ 議長は第 1 号議案平成 25 年度事業報告・第 2 号議案平成 25 年度決算報告・第 3 号議案監査報告を一括上程した。

各議案上程後質問を受ける事とする、発言者は氏名、地区名及び所属団体名名乗り発言をして欲しい旨発言した。

(1) 第 1 号議案 平成 24 年度 事業報告

前野事務局長より配布の総会資料により説明・報告した。

(2) 第 2 号議案 平成 25 年度決算報告

廣元会計より配布の総会資料により説明、報告した。

(3) 第 3 号議案 平成 24 年度監査報告

成瀬、山崎監事を代表し成瀬監事が次のように報告した。

① 会計監査については 平成 26 年 4 月 30 日会計帳簿及び関係書類を閲覧等必要な監査手続きを用いて検査し正確性を検討した。

② 業務監査については、三役会、役員会に出席し業務報告を聴取し関係書類の閲覧等業務執行の妥当性を検討した。

その結果決算報告は正確且つ妥当と認めます。

事業報告は真実であると認めます。

◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第 1 号議案平成 25 年度事業報告・第 2 号議案平成 25 年度決算報告・及び第 3 号議案監査報告について採決を行った。 原案通り満場一致の拍手にて承認された。

(4) 議長は第4号議案 会則の一部改定を上程した。

(1) 会則の改定について趣旨説明を事務局長から説明。

この監事増員は来年度役員改選年に当るための改定である。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第4号議案会則の一部改定について採決を行った。
原案通り満場一致の拍手にて承認された。

議長は第5号議案及び平成26年度事業計画(案)及び第6号議案 平成26年度予算(案)を一括上程した。

(5) 平成26年度 事業計画(案)

前野事務局長により配布総会資料により説明・報告した。

(6) 平成26年度 予算(案)

廣元会計により配布総会資料により説明・報告した。

【質疑応答】

《質問1》26年度予算案に定期預金が25年度決算書に計上されていたが26年度予算案では抜けているのはなぜか。

25年度決算に定期預金40万の計上があるが決算額0円となっているのはなぜか。

26年度に組み直す必要があるのではないか。

定期預金には使用目的があるのか。

《事務局長より回答》25年度予算計上40万円で実績0円はなぜかとのことですが、前年度50万円の取り崩す予定であったが、きびしい財政状況から100万円取り崩さなければならなかった、これは東京都補助金の実績払いとなり決算期を跨ぐ事になり、結果的には100万円取り崩しとなった。東京都補助金結果報告が2~3月となり、入金は更に2~3か月遅れてしまう、25年度決算の次年度繰越金52.6万円と数字の上では40万円の積戻しが可能であるが積戻しすると、自己財源の町自連会費の入金が7~8月となり、市からの補助金の入金も6月となり、その間の運転資金に支障が出るため不可能であるので26年度予算から削除せざる得なかった。

定期預金の使用目的について

町自連発足前の町総連の剰余金150万円を引き継ぎ、一般会計に繰込まないで定期預金として残したが特に使用目的はない、財政が厳しい折そのまま残してきたのが現状である。

《質問2》ゆめおりファンドに代わる設備備品支援補助金27年度実施ときいたが、26年度予算に計上されているが、如何か。

《事務局長より回答》

26年度は現在残っているゆめおりファンド申込み約300万円程度の残がある、それを消化するためである。

宝くじ財団と東京都への申し込みその実施は1年遅れの決済となる。

具体的な実施を含め市協働推進課と協議中である、確定後皆様へ連絡をする。

- ◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第 5 号議案 平成 26 年度事業計画(案)及び第 6 号議案 平成 26 年度予算(案)について採決を行なった。
原案通り満場拍手にて承認された。
- ◆ 議長は全議案の審議が終了し承認された旨、宣言し降壇した。


4. 閉会の辞

中島副会長により 18 時 30 分閉会した。その後 25 年度末退任会長への感謝状贈呈に移った。

5. 退任町会自治会長に感謝状贈呈

表彰規程により平成 25 年度末にて退任する在任 4 年以上の別紙表彰対象者 15 名、総会出席者 4 名への感謝状を秋間会長より贈呈した。

平成 26 年 5 月 25 日

横山北地区町会自治会連合会
議事録署名人 生 永 恭 博  印

元王子地区町会自治会連合会
議事録署名人 福 田 一 朗  印

町自連 第 11 回 定期総会 議事録

日 時 平成 25 年 5 月 26 日(日) 17 時開会 18 時 30 分閉会
場 所 八王子エルシー 4 階

馬場副会長の司会により進行

1. 開会の辞

馬場副会長により定刻に開会した。

2. 会長挨拶

新緑が美しく爽やかな季節となりました。

本日はお忙しい中、多数の皆様に出席を頂きありがとうございます。

皆様には日頃より町自連の活動にご理解とご協力頂き誠にありがとうございます。

昨年は震災からの復興の年でもあり、政府は一刻も早く復興を成し遂げるため復興庁を発足させ、新政権のもと様々な支援制度が創設されました。

私共、町自連も事業部を中心として役員研修会でいわき市金山自治会との意見交換を中心に大震災現地視察を実施いたしました、本年 3 月で 2 年経過しましたが復興には相当な時間が掛かると痛感いたしました。

近年、自然災害により各地に甚大な被害が発生しています、昨年 12 月には笹子トンネルの天井板崩落事故等が発生しております、全国で老朽化が進み社会資本への維持管理の対応が必要となっています。

私共、町自連は「向こう三軒両隣」を基本として助け合い組織を地区毎に纏めています。

町自連は市内の町会自治会管理組合 563 団体の内、324 団体を要する市内最大の組織であります。

町自連は結成依頼、単位町会・自治会の自主性を尊重しつつ地区連合会の活動を基本とし地区連合会相互の情報交換、親睦を図る活動を展開してきました。

町自連結成 10 年、組織活動の領域は関係者の努力によって着実に拡大してまいりました、自治会活動賠償責任保険・パソコン研修会・政策研修会・新任町会長研修会・町自連研修会・役員研修会の定着、「町自連だより」の発行・ホームページ等の広報活動の前進、地区連合会の活性化を目指した取り組み、多摩地区ではじめての都町連への加入、行政機関との協議を通じた事務交付金の 30 円の増額、行政の施策対策に市民の要望を反映させる事に取り組んでまいりました、このような活動を進めて行く中で、平成 24 年度から町会自治会からの要望・問い合わせに対応する為、事務局の勤務時間を午前中から 16 時迄とし体制を強化した。

これからも「向こう三軒両隣」の考えのもと、地域の絆を大切にし、益々の発展を祈念し、総会がスムーズに進行致しますようお願い致します。

3. 議長選出

司会者より議長は会則第 12 条 3 項により選出したいが如何するか発言があり、出席者より出席者より司会者一任の発言があり、満場異議なしとなり司会者に一任となった。

司会者は由木地区連合会長の小泉 渉氏を指名した。

【議長登壇】

(1) 議長は次の2名を議事録署名人として指名した

議事録署名人

中島静男 南部地区連合会長

渡辺豊久 横山南地区連合会長

(2) 議長は総会成立状況を前野事務局長より報告させた。

【総会成立報告】

町自連加入 324 団体中、出席 155 団体、委任状 104 団体、合計 259 団体となり二分の一以上過半数 163 団体以上の出席となり、会則第 12 条 4 項により総会は成立する旨報告があった。

以下、議長により議事に入った。

4. 議 事

◆ 議長は第 1 号議案を上程した。

(1) 第 1 号議案 平成 24 年度 事業報告

前野事務局長より配布の総会資料により説明・報告した。

【質疑応答】

《質問 1.》 広報活動について、広報紙「町自連だより」年 4 回発行カラー 8 頁を読んでいるが、最近福祉関係記事が多くかなり無理をしているのではないかと、6 頁 4 頁白黒とすればかなり予算節減になるのではないかと。

【回答】 事務局長より回答、いろいろな意見を伺いながら検討して行きたい、これで完成ではない、引き続き如何にすれば良いか見やすく読みやすい紙面作りをして行きたい。

《質問 2.》 「町自連だより」の全戸配布を回覧配布への変更をこの場で決議して欲しい。

【回答】 会長より回答、この件は数年に渡り検討を重ねてきた、回覧ですと見ない方も多く、各戸配布であれば何時でも手元にあって見られる、皆様から 20 円の会費を頂いている、これを有効に使うにはどうしたら良いか、読み易くするためカラーにし多くの記事掲載をするための頁増加をしてきた、現在福祉関係記事が多いがいずれはもっと充実した紙面をお届け出来るよう広報部・執行部一同努力して行くのでこのまま回覧ではなく、全戸配布として頂きたい。

《質問 3.》 各町会の意見はどうか決を取って欲しい。

【回答】 会長より回答、決を取る前に、広報紙をポイと捨てる方もいるが、地区連合会長が広報紙の重要性を単位町会長に持ち帰り町会長が組長・班長によく話をして頂きこの広報紙の重要性、費用が掛っている事の説明を町会長

は協力して欲しい、以前、うちの町会は配布しないで廃棄してしまうという話を聞いた事があるが、町会長が真剣に読んでもらうための配布して頂きたい、この全戸配布は変更する積りはないのでご協力の程お願いしたい。

《質問 4.》事業報告の中で各町会自治会へサポートをするとの事であったが、各町会自治会は独自の広報紙を発行し、必要な伝達事項網は整っている。広報紙等伝達方法のサポートして貰うのは良い。連合会は各町会自治会の活動の情報交換の場であって、各世帯へ情報を流す機関ではない、連合会の情報紙発行の必要は無い、皆さんの審を取って貰いたい。

◆ 【議長より発言】

以上の意見が出ているが、この件に関し「緊急動議」が出ない限り決を取る事は難しいが如何する事が良いか。

《質問者より発言》

予算に係る事であり大事な事である、しっかりと討議をし結論を出して欲しい。

《発言》

以上の議論はこの場で議論する問題ではない、事業報告の議案であって、25年度の事業計画(案)及び25年度予算(案)で討議すべき問題である。

《会場 この件、賛同の拍手あり》

◆ 議長は第1号議案 平成24年度事業報告について採決し、原案通り拍手多数と認め承認された。

◆ 議長は第2号議案 平成24年度決算報告及び第2号議案 平成24年度監査報告を一括上程した。

(2) 第2号議案 平成24年度決算報告

平塚会計から提案するに当たり、町自連の財政状況の認識について説明する、昨年総会にて決定された平成24年度予算について町自連の財政が厳しい中で特別会計の定期預金50万円を取り崩して編成した事はご承知の事と思います。

当時、町自連にとって健全財政の確立、自主財源の確保は極めて重要な課題であった事は昨年度総会資料に明記してあるところです、この1年間、会費値上げを含め財政の在り方について真剣に議論し、経費削減に努力してまいりましたが、厳しい状況である事には変わりはありません。

東京都からの補助金の一部(50万円)の入金が25年度になる事から定期預金取り崩しを更に50万円上乘せしなければならなかった。

後ほど提案の25年度事業計画(案)の中で健全財政確立について触れていますが町自連の具体的な方策について後ほど提起する案件に真剣に取り組んでゆきますが、その結果を見て26年度以降、会費値上げを含め改めて提案する状況になっています、町自連が厳しい財政状況になっている事を認識して頂きたいと思います。

平塚会計より配布の総会資料により説明、報告した。

(3) 第3号議案 平成24年度監査報告

田中、山崎監事を代表し田中監事が次のように報告した。

- ① 会計監査については 平成25年4月26日会計帳簿及び関係書類を閲覧等必要な監査手続きを用いて検査し正確性を検討した。
 - ② 業務監査については、三役会、役員会に出席し業務報告を聴取し関係書類の閲覧等業務執行の妥当性を検討した。
- その結果決算報告は正確且つ妥当と認めます。
事業報告は真実であると認めます。

◆ 議長は質問発言者がいない事を確認し第2号議案及び第3号議案について採決を行った。
原案通り満場一致の拍手にて承認された。

◆ 議長は第4号議案 役員選出を上程した。

(4) 役員改選

【第4号議案の1】

規約第7条第2項に基づき塩野良光役員選考委員長より別紙役員候補者名簿により次の3氏が提案された。

会長候補 秋間 利久
監事候補 山崎 勲介
監事候補 成瀬 義雄

◆ 議長は採決し満場一致の拍手により承認された。

【第4号議案の2】

規約第7条3項に基づき秋間会長より別紙役員候補者名簿により次の4氏が推薦された。

副会長 今泉満正
副会長 塩野良光
副会長 中島静男
会 計 廣元 洸

◆ 議長は採決し満場一致の拍手により承認された。

◆ 議長は第5号議案 平成25年度事業計画(案)及び第6号議案 平成25年度予算(案)を一括上程した。

(5) 平成25年度 事業計画(案)

今泉副会長により配布総会資料により説明・報告した。

(6) 平成25年度 予算(案)

廣元会計により配布総会資料により説明・報告した。

24年度と予算編成上異なる点は、収入の部、特別会費の内懇親会等は独立採算

につき経常予算外とした。

【質疑応答】

《質問 5.》 広報紙「町自連だより」の全戸配布を回覧数配布への変更を提案する。

【回答】 会長より回答、 回覧を望んでいる町会自治会もあり、全戸配布を望む町会自治会もある、カラー化、ページ増にしてから事務局へ内容が良くなった又町自連に加入団体からの問い合わせも入り出した、記事内容に対する問い合わせ先等の連絡も多くなっている。

この件についてこの場で決を取らず地区連合会長の役員会へ委ね如何するか検討して行きたいが如何か。

《会場より賛同の拍手あり》

【発言】 2年程前に回覧への変更が総会席上にて議論されたと記憶しているが、その後役員会にて元に戻った、同じ事の繰り返しではないか。財政状況が逼迫している中で、費用削減になるのではないか。全戸配布でなくても地域住民の目に触れる、それで良いのではないか、緊急動議として提案するので、諮って貰いたい。

- ◆ 議長から緊急動議の内容を確認した。

【緊急動議】

「広報紙「町自連だより」の全戸配布数から回覧数発行への変更」

- ◆ 議長は緊急動議に対する意見を募った。

《発言 1》 緊急動議に賛成である、町会自治会に対する情報紙に切り替え、各町会自治会は必要な情報なのか住民に知らせる情報なのか吟味したうえで各町会自治会の広報紙に切り替え住民に流して行く事になると思う、経費節減に繋がると経費節減に繋がると思う。

《発言 2》 2年前回覧方式にしたらどうかの議論があった。
3月に発表された八王子市の基本構想ビジョン2020年の中で市長は高齢化に対して各地域の連携等が大切な事であると打ち出されている。
八王子市の高齢化が進む中で町会自治会の役割、取組んでいる活動があるがその活動等を支援・指導して頂く組織が町自連ではないかと思う。
この1年地区連合会長から説明を受けているが町自連自体が諸問題をどう取組んで行くか模索中であると聞いている、非常に難しい問題に取り組んでいるか良く解っている。
その中で広報紙の在り方は今後の在り方、要望等を発信して行く場ではないか、経費についても広告増加し経費節減して行くと聞いている。
ここ一、二年は現状のまま続け広報紙のレベルを上げ、我々もバックアップして行けば良い。

《発言 3》 25年度事業計画を見ると、町自連の活動を知って貰う活動を強力に展開するという方針の基に経費節減のため広告スポンサーを集めるという項目が記載されている、その目標金額がどの程度なのか予算の中に反映されていない、その金額によっては全戸配布が良いか、見込んでなければ回覧

もよしとしなければならない、200万円の予算の内、広告料はどのくらい占めるのか、広告スペースが増加すれば頁数も増え、発行経費も増えて行く、広告が多く掲載されている物が一般家庭に配布されれば「何だこれは広告か」と取られかねない、それでよいあ一緒に吟味しなければいけない。

《発言4》 広報費の占める割合が予算総額の内2番目に多い

ホームページのアクセス数はどのくらいか、アクセスしている地域別の数は解るか、「町自連だより」とホームページをうまくリンクしてゆけば発行回数を減らして行く事が可能ではないか。

【回答】 事務局長より回答及び説明。

ホームページについて

ホームページのアクセス数は月平均約1,000回であり、アクセスして来た地域は不明である。

「町自連だより」について

予算計上196万円は紙面白黒で年2回発行時の金額である。

年2回発行では広報紙の役割は果たせない、遅れた報告事項のみの掲載しか出来ない、「町総連」時代は年1回発行であった、「町自連」になってから年1回発行を止め2回とした。

町自連の活動を知って貰うためどのような方法がよいか、紙に依る物、電子メディアに依る物、双方の方法を取った、しかし、電子メディアでどの程度の方々がホームページを閲覧するのは若い人は別であるが、まだまだ低いのではないか、行政もIT化推進が叫ばれ、ホームページから諸文書、届出用紙をダウンロードすれば良いとしているが、実態は全町会自治会長の何%が可能なのか、非常に低いのではないか、そういった面から紙ベースの広報紙は大切である。

町会自治会のIT化支援事業として実施したのがパソコン研修会を開催し、少しでもバックアップしてゆく為実施した。

広報紙の発行費用について。

従来年2回発行の費用で発行頻度を増やし事業の実施予定等の予告記事も掲載するのに適当な発行回数ほどの程度なのか、関係機関と検討して来た、最低でも年4回の発行であろうとなった。

これ以上の費用は出せない事を条件に数業者と検討してきたが、ヒラツカ印刷社が町自連の意向を理解し町自連と共に広告主を集めようとなった、ヒラツカ印刷社の全面的に協力の基年4回の発行となった。

4頁から8頁にしたのは、広告スペース、記事広告・窓広告スペースを増やすため増頁にしたのが実態である、しかし、時節柄広告主が集まりにくい。広告を取りに行った時、痛切に感じているのは「町自連とは何なんですか」とのことである。

市内12万部を発行の広報紙は広告主には大きなメディアであると言われていて、「町自連」を知って貰えればスポンサーは付くと言われていて。

ここ一、二年何とか踏ん張って行きたい。

昨年度、196万円しか費用を出していない、1回当たり約40万の赤字であるこの赤字はヒラツカ印刷社が被っている、我々も広告主探しに努力しなければならない、広告主を増やす事で乗り越え、改善を重ね読まれる記事を追求し、「町自連」を知って貰うための情報発信をしてゆかねばならないと思う。

- ◆ 議長は【緊急動議】に対する採決を挙手で行なった。

動議に対する賛成は 39 名であった。

- ◆ 議長は動議に対して採決の結果、否決した。
- ◆ 議長は第 5 号議案 平成 25 年度事業計画(案)及び第 6 号議案 平成 25 年度予算(案)について採決を行なった。
原案通り満場拍手にて承認された。

《その他発言 1》

地区ホームページについて、町自連役員幹部の地区は率先して是非、立上げて欲しい。

行政に対し補助金の増額等の要望を出しているのか

- 【回答】 事務局長より回答、今までも増額要求はしているが、来年度に向けて引き続き行政に要望してゆく、情報が入り次第役員会を通じ、皆様に伝えます。

《その他発言 2》

パソコン研修会受講について、IT 化推進のためにも、同じクラスの受講を可能にして欲しい、その希望が多い。

- 【回答】 事務局長より回答、25 年度、検討する。

- ◆ 議長は全議案の審議が終了し承認された旨、宣言し降壇した。

5. 退任町会自治会長に感謝状贈呈

表彰規程により平成 24 年度末にて退任する在任 4 年以上の別紙表彰対象者 35 名、総会出席者 3 名への感謝状を秋間会長より贈呈した。

6. 閉会の辞

馬場副会長により 18 時 30 分閉会した。

平成 25 年 6 月 11 日

議事録署名人

中島 静 男



議事録署名人

渡辺 豊 久

